

設置計画履行状況等調査の結果等について (平成27年度)

1. 調査の概要

設置計画履行状況等調査（以下「アフターケア」という。）は、大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成18年文部科学省令第12号）（以下「手続規則」という。）第14条（※1参照）に基づき、大学の設置認可時等における留意事項及び授業科目の開設状況、教員組織の整備状況、その他の設置計画の履行状況について、各大学からの報告を求め、書面、面接又は実地により調査を行い、各大学の教育水準の維持・向上及びその主体的な改善・充実に資することを目的として実施するものである。

2. 調査対象

アフターケアは、「大学設置分科会運営規則」第5条の2（※2参照）の規定に基づき、大学設置分科会の下に置かれた「設置計画履行状況等調査委員会」（以下「調査委員会」という。）（別添1）において、原則認可を受けた者又は届出を行った者のうち設置計画期間中にある者に対し、書面調査、面接調査、実地調査のいずれか又は併用によって行っている。なお、設置計画期間中に付された意見への対応が十分でなかった大学には、完成年度以降も設置計画履行状況の調査を継続して行うこととしている。

平成27年度の調査対象の公私立大学・大学院・短期大学・高等専門学校（以下「大学等」という。）の校数及び件数はそれぞれ450校755件であり、これらすべてについて書面調査を行い、併せて面接調査を実施したのは33校36件、実地調査を実施したのは18校21件であった。

(件)

	設置				収容定員増	計
	学年進行中		完成年度後			
	認可	届出	認可	届出		
書面調査	189	463	45	53	5	755
うち面接調査	8	10	9	8	1	36
うち実地調査	12	3	4	2	0	21

3. 平成27年度調査結果の概要

全対象450校のうち、是正意見及び改善意見が付された大学等は270校であり、意見が付されなかった大学等は180校であった。（別添2）

意見が付された大学等		270校
内訳	是正意見が付された大学等 (警告とされた大学を含む)	10校
	改善意見が付された大学等	269校
意見が付されなかった大学等		180校

※1校に是正意見と改善意見が付されている場合がある。

全体としては、各大学等において設置計画が着実に履行されており、設置計画の変更があったものも、相応の理由ややむを得ない事情があったものと認められる。ただし、定員の不適切な管理や設置計画期間中の教育課程の大きな変更など、設置計画の履行という観点から不適切な事例も見られた。これらの状況は、学生の教育環境の悪化を招くものであり、教育の質の維持・向上の観点からも早急な改善が求められるものである。また、昨年度の調査の結果「是正意見」が付されたにも関わらず、対応が十分ではなく、「設置計画の履行の状況が著しく不適当な状態」に該当するおそれがあるものとして「警告」が付された事例や、改善意見を付されながら対応が不十分だとして「是正意見」を付された事例も見られた。

各大学等においては、設置認可申請に係る書類、あるいは届出に係る書類は、「各大学が社会に対して着実に実現していく構想を表したもの」であることを十分認識するとともに、特に下記の点について適切な対応をとるように改めて強く求めたい。

- 入学志願者や社会からのニーズを適切に踏まえた定員設定となっていない結果として、開設以来未充足が続いている状態、一方で、適切な入学者選抜が行われていない等により、大幅に定員を超えて学生を受け入れている状態の大学など、収容定員が適切に管理されていない大学が見られた。このような状態が継続する場合、教育環境の悪化が懸念されることから、各大学等においては、学生や社会からのニーズを踏まえた適切な定員管理が求められる。
- 教育課程の大幅な変更により体系性に疑義が生じているもの、教員の変更により主要授業科目を専任教員以外が担当しているもの等、大学設置基準等に抵触する大学も見られた。また、教員の減少等により、資格取得に必要な実習体制が適切に行われるか懸念されるものなど、学生に大きな影響を与えるような変更が見られた。設置計画は確実に履行することが前提であり、仮に止むを得ない事由により教育課程や教員の変更が生じた場合、適切に教員補充等の代替措置を講じ、教育に影響が出ないように配慮することが求められる。
- 臨床実習、インターンシップ、海外研修等、学外における体験や研修を授業として取り入れる事例が多くあるが、それぞれ単位認定するためには、当該研修等の教育目標を明確にし、事前・事後の学修、実施中の指導体制、安全管理や不測の場合の連絡体制など、十分な計画の下で行われるべきである。
- シラバスの記載内容が不十分、実習要項の記載に誤りや不明確な箇所がある等、学生が履修する上で活用すべき種々の情報が適切に提供されていないものが見られた。学生に対して教育等に関する情報を適切な形式で十分に提供することが必要であり、各大学等においては、組織的にその方法を検討し取り組むことが求められる。

なお、本調査において付される意見等の定義は以下のとおり。

意見等の種類	定義
留意事項	手続規則第13条に基づき、認可を受けた者が設置計画を履行するに当たって留意すべき事項
改善意見	設置計画履行状況調査の結果、留意事項の履行状況等に関し、改善を強く求める事項があり、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、その改善を求める意見。
是正意見	設置計画履行状況調査の結果、早急な是正が求められる場合、又は改善意見を受けた後に行った設置計画履行状況調査の結果、当該改善意見が求める事項について不履行がある場合若しくは対応が不十分な場合において、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、その早急な是正を求める意見。

警告	設置計画履行状況調査の結果，是正意見を受けながら，その早急な是正に向けた対応がなされていないと認められる場合に，認可を受けた者又は届出を行った者に対して，大学，大学院，短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第3号に規定する「設置計画の履行の状況が著しく不適当な状態」に該当することになるおそれがある旨を伝達すること。
----	--

4. 設置計画履行状況等報告書の情報公開等

履行状況を記載した設置計画履行状況等報告書は，社会に対する説明責任を果たす意味で大学として積極的に公開することが求められる。各大学等はこの意味に鑑み，積極的に公表いただきたい。ホームページ等を利用し公開する際，情報を必要とする者が容易に情報を得られるよう工夫することが求められる。

また，全ての大学が受けることを義務付けられている「認証評価」（※3参照）とアフターケアの有機的な連携が図られるよう，引き続き，各認証評価機関に対して，本調査の結果を参考資料として送付することとしたい。

さらに，本調査の結果については，高等学校関係者にとっても有益な情報となることから，今年度から新たに，都道府県の高等学校担当部署（教育委員会及び私立学校所管部局）に対して送付することとしたい。

〈参考資料〉

※1 大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成18年3月31日文部科学省令第12号）（抄）

第14条 文部科学大臣は，設置計画及び留意事項の履行の状況を確認するため必要があると認めるときは，認可を受けた者又は届出を行った者に対し，その設置計画及び留意事項の履行の状況について報告を求め，又は調査を行うことができる。

※2 大学設置分科会運営規則（平成18年4月25日大学設置・学校法人審議会大学設置分科会決定）（抄）

第5条の2 分科会に，次に掲げる事項の調査，審議又は指導及び助言等をさせるため，設置計画履行状況等調査委員会（以下この条及び第七条第三項において「調査委員会」という。）を置く。

一 大学設置・学校法人審議会令（昭和六十二年政令第三百二号）第五条第二号の規定により大学設置分科会の所掌事務とされたもののうち大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成十八年文部科学省令第十二号）第十四条に定める設置認可及び届出後の設置計画及び留意事項等の履行状況についての調査等

二 学校教育法第九十五条に基づき，同法第十五条第二項若しくは第三項の規定による命令又は第一項の規定による勧告に関し，文部科学大臣が大学設置・学校法人審議会に諮問した事項に関する必要な調査等

三 前二号に規定する調査等の改善方策に係る審議

四 設置認可及び届出後の質保証に係る審議

2～9 （略）

※3 学校教育法（昭和22年3月31日法律第26号）（抄）

第109条

1 （略）

2 大学は，前項の措置に加え，当該大学の教育研究等の総合的な状況について，政令で定める期間ごとに，文部科学大臣の認証を受けた者（以下「認証評価機関」という。）による評価（以下「認証評価」という。）を受けるものとする。ただし，認証評価機関が存在しない

場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。

3 専門職大学院を置く大学にあつては、前項に規定するもののほか、当該専門職大学院の設置の目的に照らし、当該専門職大学院の教育課程、教員組織その他教育研究活動の状況について、政令で定める期間ごとに、認証評価を受けるものとする。ただし、当該専門職大学院の課程に係る分野について認証評価を行う認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。

大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会） 設置計画履行状況等調査委員会 委員名簿

◎・・・主査 ○・・・主査代理

【委員】

- ◎ あさだ なおき 兵庫県立大学理事・副学長
浅田 尚紀
かわぐち きよふみ 前総長・立命館大学政策科学部教授
川口 清史

【特別委員】

- はまな あつし 関西国際大学長・理事長
濱名 篤
むらもと じゅんこ 前三重県立看護大学長・理事長
村本 淳子

【専門委員】

- あかざわ こうへい 新潟大学医歯学総合病院医療情報部教授
赤澤 宏平
あさだ よしひさ 日本大学経済学部教授
浅田 義久
あさはら きよみ 聖路加国際大学看護学部教授
麻原 きよみ
いしい よしかず 首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授
石井 良和
いしばし みゆき 千葉大学大学院看護学研究科准教授
石橋 みゆき
うらた ひろあき 名城大学大学院大学・学校づくり研究科教授
浦田 広朗
えんどう ひでき 立命館大学文学部教授
遠藤 英樹
おいえ ゆうじ 九州工業大学情報工学研究院教授
尾家 祐二
おおた しげる 広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授
太田 茂
おがさわら こういち 東北福祉大学総合福祉学部教授
小笠原 浩一
おかじま やすとも 杏林大学医学部リハビリテーション医学教授
岡島 康友
おやまだ きょうこ 東邦大学看護学部准教授
小山田 恭子
からつ ひろし 中央大学法学部教授
唐津 博
かわい つよし 奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科教授
河合 壯
きたやま みつこ 岐阜県立看護大学看護学部教授
北山 三津子
さかい しゅうじ 東京女子医科大学画像診断学・核医学講座教授
坂井 修二
さかい たつお 順天堂大学大学院医学研究科教授
坂井 建雄
さだもと ともこ 日本女子体育大学体育学部教授
定本 朋子
しみず よしのり 筑波大学人間系教授
清水 美憲
すぎたに ゆみこ 青山学院大学教育人間科学部教育学科教授
杉谷 祐美子
たかはし まり 順天堂大学大学院医療看護学研究科教授
高橋 真理
たぶ みきこ 聖徳大学大学院教職研究科教授
梶 瑞希子
ながさわ ひろし 神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科長
長澤 弘
にしはら あきのり 東京工業大学大学院社会理工学研究科教授
西原 明法
ふじもと もとひろ 金沢工業大学基礎教育部教授
藤本 元啓
ほりい ゆうすけ 金沢大学大学教育開発・支援センター教授
堀井 祐介
まなべ まりこ 同志社女子大学生生活科学部教授
真部 真里子
みちまた ちかし 上智大学総合人間科学部心理学科教授
道又 爾
もり かおり 日本大学芸術学部教授
森 香織

○「警告」とされた大学（1校）

NO.	設置者区分	大学名等	是正意見の内容
43	私立	東京福祉大学	○教育課程の改善として授業科目を大幅に変更しているが、過年度入学者が履修した科目が学則上から削除されており、経過措置や読替規定も存在していない。学生への説明は実施しているとの説明であったが、既修得科目の読み替え等が学則等で明確に規定されていないのは不適切である。旧課程の履修者に対応した適切な規定を設け、学生に対して十分に説明すること。（教育学部教育学科、教育学部教育学科（通信教育課程））

○「是正意見」が付された大学等（9校）

NO.	設置者区分	大学名等	是正意見の内容
12	私立	札幌保健医療大学	○担当教員が不在で臨時的に非常勤講師に担当させている科目については、速やかに専任教員を補充すること。なお、主要科目については、原則として専任の教授または准教授が担当する必要があり、現状は大学設置基準第10条に抵触しているため、早急に教員を配置すること。また、実習においても専任教員と非常勤教員の間で意思統一を図ること。（看護学部看護学科）
41	私立	群馬医療福祉大学	○看護学科の教授数が大学設置基準上必要とされる人数を満たしていないことから、教員の補充を速やかに行うこと。（看護学部看護学科）
116	私立	横浜創英大学	○看護学部においては、毎年定員を大幅に超過して学生を受け入れており、特に、推薦入試については定員の50%である募集人員を大きく超える合格者を毎年出している。大学設置基準第18条第3項及び大学入学選抜実施要項に照らして適切な入学選抜と定員管理がなされていないことから、推薦入試においては、自ら定めた募集人員に沿って適切な入学選抜を行うとともに、全体としても大学設置基準第18条第3項に照らして適切な定員管理を行うこと。（看護学部看護学科） ○看護学部においては、完成年度を迎えると同時に14人もの専任教員が辞任しており、かつ、「小児看護学実習Ⅰ」、「小児看護学実習Ⅱ」、「在宅看護方法論Ⅰ」、「在宅看護方法論Ⅱ」等、主要科目として位置付けられている科目に専任教員が配置されていない、又は専任ではあっても講師が担当している状態が散見される。これは、大学設置基準第10条に抵触しているため、早急に専任の教授又は准教授を当該科目担当として配置すること。また、その他の科目も含め、教員補充について「検討」の段階は既に過ぎている状況であり、完成年度をもつての退職者も含めて具体的・中長期的な教員の採用計画、年次計画を早急に策定し実施すること。その際、新たな教員の採用や教員の昇格においては、教員の資格について定める大学設置基準第14条から第17条の規定に則り適切に実施すること。（看護学部看護学科）
118	私立	新潟医療福祉大学	○シラバスにおいて、1単位の科目の回数が7回となっていたり、さらに7回目が定期試験と記載されている科目等が見受けられ、大学設置基準第21条の授業時間数を確保できていない科目が見受けられる。単位当たりに必要な授業時間数を適切に確保するとともに、シラバスは実態と整合した記載とすること。（医療技術学部視機能科学科）
162	私立	びわこ成蹊スポーツ大学	○「教養演習A」、「英語Ⅰ」等の各科目について、大学教育として適切な内容となるよう再度精査し、シラバスもあわせて修正すること。なお、科目を履修するに当たっては必要に応じて正課教育外のリメディアル教育で補完すること。さらに、アドミッションポリシーに沿って適切な選抜を行うよう改善を図ること。（スポーツ学部スポーツ学科） ○一部の科目において、中間テストの成績によって、その後の授業が免除されている実態があるが、この場合、大学が定める授業の時間が確保されておらず、大学設置基準第21条第2項に抵触しているため、授業時間が適切に確保されるよう改善すること。（スポーツ学部スポーツ学科）
174	私立	大阪観光大学	○認可時の留意事項について、平成26年度以降の対応状況の報告が無いため、平成27年度までの対応、検討の状況を報告するとともに、引き続き完成年度に向けて対応すること。（国際交流学部国際交流学科）
210	私立	天理医療大学	○認可時の留意事項として、専任教員の補充を必要とされた授業科目にまだ専任教員が配置されていない科目が1科目（「障がい論」）あることから、早急に専任教員を配置すること。（医学部看護学科）
244	私立	福岡工業大学	○「英語初級Ⅰ・Ⅱ」、「基礎物理学」等の各科目について、大学教育として適切な内容となるよう再度精査し、シラバスもあわせて修正すること。なお、科目を履修するに当たっては必要に応じて正課教育外のリメディアル教育で補完すること。（情報工学部情報通信工学科）
258	私立短大	札幌大学女子短期大学部	○資格の取得によって、本学における授業科目の単位として認定されているが、本学の教育課程にはない科目名で単位認定されることとなっている。本学で開講されておらず単位認定のための名称だけの科目であれば、短期大学設置基準第15条に照らして不適切である。短期大学設置基準に照らして適切な運用となるよう、早急に制度の改廃を検討し、見直しを行うこと。（キャリアデザイン学科） ○シラバスのない科目があることから、全科目のシラバスを作成し、学生に提示すること。（キャリアデザイン学科）

○「改善意見」が付された大学等（269校） ※印の大学には、是正意見も付されている。

NO.	設置者区分	大学名等
1	公立	山形県立米沢栄養大学
2	公立	埼玉県立大学大学院
3	公立	新潟県立大学大学院
4	公立	敦賀市立看護大学
5	公立	静岡県立大学大学院
6	公立	和歌山県立医科大学大学院
7	公立	福山市立大学
8	公立	福山市立大学大学院
9	公立	愛媛県立医療技術大学大学院
10	私立	札幌大学
11	私立	札幌大谷大学
※	私立	札幌保健医療大学
13	私立	苫小牧駒澤大学
14	私立	日本医療大学
15	私立	北翔大学
16	私立	北翔大学大学院
17	私立	北海商科大学大学院
18	私立	北海道医療大学
19	私立	北海道医療大学大学院
20	私立	北海道科学大学
21	私立	北海道情報大学
22	私立	北海道文教大学大学院
23	私立	北海道薬科大学大学院
24	私立	青森中央学院大学
25	私立	岩手医科大学大学院
26	私立	石巻専修大学
27	私立	仙台大学
28	私立	仙台白百合女子大学
29	私立	東北学院大学
30	私立	東北工業大学
31	私立	東北福祉大学大学院
32	私立	東北芸術工科大学
33	私立	いわき明星大学
34	私立	福島学院大学
35	私立	茨城キリスト教大学
36	私立	常磐大学大学院
37	私立	日本ウェルネススポーツ大学
38	私立	足利工業大学
39	私立	宇都宮共和大学
40	私立	作新学院大学
※	私立	群馬医療福祉大学
42	私立	高崎健康福祉大学
※	私立	東京福祉大学
44	私立	埼玉学園大学
45	私立	埼玉学園大学大学院
46	私立	十文字学園女子大学
47	私立	城西大学大学院
48	私立	聖学院大学
49	私立	東京国際大学
50	私立	獨協大学
51	私立	日本医療科学大学
52	私立	日本保健医療大学
53	私立	日本薬科大学
54	私立	植草学園大学
55	私立	江戸川大学
56	私立	川村学園女子大学
57	私立	川村学園女子大学大学院
58	私立	淑徳大学
59	私立	城西国際大学
60	私立	城西国際大学大学院

NO.	設置者区分	大学名等
61	私立	聖徳大学
62	私立	千葉科学大学
63	私立	千葉科学大学大学院
64	私立	千葉商科大学
65	私立	東京基督教大学大学院
66	私立	跡見学園女子大学
67	私立	嘉悦大学
68	私立	嘉悦大学大学院
69	私立	恵泉学園大学
70	私立	國學院大學
71	私立	駒澤大学大学院
72	私立	駒沢女子大学
73	私立	実践女子大学
74	私立	順天堂大学
75	私立	上智大学
76	私立	昭和女子大学
77	私立	昭和女子大学大学院
78	私立	杉野服飾大学大学院
79	私立	玉川大学
80	私立	玉川大学大学院
81	私立	帝京大学
82	私立	帝京大学大学院
83	私立	帝京平成大学
84	私立	帝京平成大学大学院
85	私立	東海大学
86	私立	東海大学大学院
87	私立	東京有明医療大学大学院
88	私立	東京医療学院大学
89	私立	東京工科大学
90	私立	東京電機大学大学院
91	私立	東京都市大学
92	私立	東京都市大学大学院
93	私立	東京富士大学
94	私立	東京未来大学
95	私立	東京理科大学大学院
96	私立	東洋大学
97	私立	東洋学園大学
98	私立	日本大学
99	私立	日本大学大学院
100	私立	日本体育大学
101	株立	ビジネス・ブレークスルー大学
102	私立	法政大学
103	私立	法政大学大学院
104	私立	星薬科大学大学院
105	私立	武蔵大学
106	私立	武蔵野大学
107	私立	武蔵野大学大学院
108	私立	明星大学
109	私立	明星大学大学院
110	私立	ヤマザキ学園大学
111	私立	関東学院大学
112	私立	相模女子大学
113	私立	松蔭大学
114	私立	昭和音楽大学大学院
115	私立	星槎大学大学院
※	私立	横浜創英大学
117	私立	横浜薬科大学
※	私立	新潟医療福祉大学
119	私立	新潟医療福祉大学大学院
120	私立	新潟工科大学

NO.	設置者区分	大学名等
121	私立	新潟青陵大学
122	私立	新潟青陵大学大学院
123	私立	新潟薬科大学
124	私立	新潟薬科大学大学院
125	私立	金沢工業大学
126	私立	金城大学
127	私立	金城大学大学院
128	私立	北陸学院大学
129	私立	福井工業大学
130	私立	福井工業大学大学院
131	私立	山梨学院大学
132	私立	佐久大学大学院
133	私立	諏訪東京理科大学
134	私立	諏訪東京理科大学大学院
135	私立	長野保健医療大学
136	私立	朝日大学
137	私立	岐阜経済大学
138	私立	中部学院大学
139	私立	東海学院大学
140	私立	静岡産業大学
141	私立	静岡福祉大学
142	私立	聖隷クリストファー大学
143	私立	聖隷クリストファー大学大学院
144	私立	常葉大学
145	私立	愛知淑徳大学大学院
146	私立	愛知東邦大学
147	私立	岡崎女子大学
148	私立	同朋大学大学院
149	私立	豊橋創造大学
150	私立	名古屋学院大学
151	私立	名古屋商科大学
152	私立	名古屋文理大学
153	私立	南山大学大学院
154	私立	日本福祉大学
155	私立	人間環境大学
156	私立	人間環境大学大学院
157	私立	藤田保健衛生大学大学院
158	私立	鈴鹿大学
159	私立	四日市大学
160	私立	聖泉大学大学院
161	私立	びわこ学院大学
※	私立	びわこ成蹊スポーツ大学
163	私立	大谷大学大学院
164	私立	京都学園大学
165	私立	京都華頂大学
166	私立	京都光華女子大学
167	私立	京都光華女子大学大学院
168	私立	京都女子大学大学院
169	私立	京都精華大学
170	私立	京都造形芸術大学
171	私立	京都造形芸術大学大学院
172	私立	京都美術工芸大学
173	私立	同志社女子大学大学院
※	私立	大阪観光大学
175	私立	大阪経済法科大学
176	私立	大阪経済法科大学大学院
177	私立	大阪国際大学
178	私立	大阪樟蔭女子大学
179	私立	大阪樟蔭女子大学大学院
180	私立	大阪女学院大学大学院

NO.	設置者区分	大学名等
181	私立	大阪総合保育大学大学院
182	私立	大阪体育大学
183	私立	大阪人間科学大学
184	私立	大阪行岡医療大学
185	私立	関西大学大学院
186	私立	関西医療大学
187	私立	関西外国語大学
188	私立	四條畷学園大学
189	私立	四天王寺大学
190	私立	摂南大学大学院
191	私立	相愛大学
192	私立	太成学院大学
193	私立	帝塚山学院大学
194	私立	梅花女子大学
195	私立	東大阪大学
196	私立	プール学院大学
197	私立	大和大学
198	私立	関西看護医療大学大学院
199	私立	関西国際大学大学院
200	私立	関西学院大学
201	私立	甲子園大学
202	私立	神戸医療福祉大学
203	私立	神戸松蔭女子学院大学
204	私立	神戸山手大学
205	私立	宝塚大学
206	私立	宝塚医療大学
207	私立	流通科学大学
208	私立	畿央大学大学院
209	私立	帝塚山大学
211	私立	天理大学大学院
212	私立	高野山大学
213	私立	鳥取看護大学
214	私立	岡山理科大学
215	私立	吉備国際大学
216	私立	倉敷芸術科学大学
217	私立	山陽学園大学大学院
218	私立	就実大学
219	私立	就実大学大学院
220	私立	中国学園大学
221	私立	比治山大学
222	私立	広島経済大学
223	私立	広島工業大学
224	私立	広島国際大学
225	私立	広島国際学院大学
226	私立	広島女学院大学
227	私立	広島都市学園大学
228	私立	広島文化学園大学
229	私立	広島文化学園大学大学院
230	私立	福山大学大学院
231	私立	安田女子大学
232	私立	安田女子大学大学院
233	私立	東亜大学
234	私立	東亜大学大学院
235	私立	四国大学大学院
236	私立	徳島文理大学
237	私立	徳島文理大学大学院
238	私立	聖カトリック大学
239	私立	九州栄養福祉大学
240	株立	サイバー大学
241	私立	筑紫学園大学

NO.	設置者区分	大学名等
242	私立	日本経済大学
243	私立	日本経済大学大学院
※244	私立	福岡工業大学
245	私立	福岡女学院大学大学院
246	私立	保健医療経営大学
247	私立	西九州大学
248	私立	西九州大学大学院
249	私立	長崎ウエスレヤン大学
250	私立	長崎国際大学大学院
251	私立	長崎総合科学大学
252	私立	崇城大学大学院
253	私立	九州保健福祉大学
254	私立	九州保健福祉大学大学院
255	私立	宮崎国際大学
256	私立	第一工業大学
257	私立短大	帯広大谷短期大学
※258	私立短大	札幌女子短期大学部
259	私立短大	青森明の星短期大学
260	私立短大	弘前医療福祉大学短期大学部
261	私立短大	仙台青葉学院短期大学
262	私立短大	東京福祉大学短期大学部
263	私立短大	小田原短期大学
264	私立短大	大垣女子短期大学
265	私立短大	岐阜保健短期大学
266	私立短大	東海学院大学短期大学部
267	私立短大	愛知江南短期大学
268	私立短大	名古屋経営短期大学
269	私立短大	鈴峯女子短期大学
270	私立短大	宮崎学園短期大学

○意見が付されなかった大学等（180校）

設置者区分	大学名等
公立	宮城大学大学院
公立	秋田公立美術大学
公立	前橋工科大学大学院
公立	千葉県立保健医療大学
公立	横浜市立大学大学院
公立	富山県立大学大学院
公立	岐阜薬科大学大学院
公立	名古屋市立大学大学院
公立	大阪府立大学
公立	大阪府立大学大学院
公立	兵庫県立大学大学院
公立	公立鳥取環境大学
公立	島根県立大学
公立	新見公立大学大学院
公立	下関市立大学大学院
公立	高知県立大学大学院
公立	高知工科大学
公立	九州歯科大学大学院
公立	福岡女子大学大学院
私立	北海学園大学
私立	酪農学園大学
私立	酪農学園大学大学院
私立	東北福祉大学
私立	東北薬科大学大学院
私立	つくば国際大学
私立	国際医療福祉大学大学院
私立	国際医療福祉大学
私立	群馬パース大学
私立	上武大学
私立	高崎健康福祉大学大学院
私立	尚美学園大学
私立	駿河台大学
私立	駿河台大学大学院
私立	東都医療大学
私立	日本工業大学大学院
私立	人間総合科学大学
私立	文教大学
私立	文教大学大学院
私立	亀田医療大学
私立	神田外語大学
私立	敬愛大学
私立	東京情報大学
私立	放送大学大学院
私立	麗澤大学大学院
私立	和洋女子大学
私立	青山学院大学
私立	青山学院大学大学院
私立	亜細亜大学
私立	学習院大学
私立	学習院大学大学院
私立	北里大学大学院
私立	共立女子大学
私立	共立女子大学大学院
私立	杏林大学
私立	国立音楽大学
私立	慶應義塾大学大学院
私立	工学院大学
私立	国士舘大学大学院
私立	順天堂大学大学院
私立	昭和大学大学院

設置者区分	大学名等
私立	昭和薬科大学大学院
私立	聖心女子大学
私立	創価大学
私立	大正大学
私立	拓殖大学大学院
私立	多摩美術大学
私立	中央大学
私立	中央大学大学院
私立	帝京科学大学
私立	東京医科大学
私立	東京医療保健大学大学院
私立	東京音楽大学大学院
私立	東京家政大学
私立	東京純心大学
私立	東京農業大学
私立	東京薬科大学大学院
私立	東京薬科大学
私立	東邦大学大学院
私立	東洋大学大学院
私立	日本赤十字看護大学大学院
私立	文京学院大学
私立	明治大学
私立	明治大学大学院
私立	明治学院大学大学院
私立	明治薬科大学大学院
私立	ルーテル学院大学
株立	LEC東京リーガルマインド大学院大学
私立	早稲田大学
私立	早稲田大学大学院
私立	神奈川大学
私立	神奈川工科大学
私立	産業能率大学
私立	湘南医療大学
私立	田園調布学園大学大学院
私立	桐蔭横浜大学大学院
私立	日本映画大学
私立	横浜商科大学
私立	国際大学大学院
私立	長岡大学
私立	新潟国際情報大学
私立	金沢医科大学大学院
私立	金沢学院大学
私立	金沢学院大学大学院
私立	岐阜聖徳学園大学
私立	愛知学院大学大学院
私立	愛知学院大学
私立	金城学院大学
私立	椋山女学園大学大学院
私立	大同大学
私立	中京大学
私立	中部大学
私立	中部大学大学院
私立	東海学園大学
私立	名古屋外国語大学
私立	名城大学大学院
私立	名城大学
私立	鈴鹿医療科学大学
私立	鈴鹿医療科学大学大学院
私立	京都看護大学
私立	京都産業大学大学院

設置者区分	大学名等
私立	京都産業大学
私立	京都女子大学
私立	京都橘大学
私立	京都橘大学大学院
私立	京都文教大学
私立	京都薬科大学大学院
私立	同志社大学大学院
私立	同志社大学
私立	同志社女子大学
私立	佛教大学
私立	佛教大学大学院
私立	立命館大学大学院
私立	立命館大学
私立	龍谷大学
私立	藍野大学大学院
私立	追手門学院大学
私立	大阪青山大学
私立	大阪医科大学大学院
私立	大阪大谷大学
私立	大阪音楽大学
私立	大阪経済大学
私立	大阪産業大学
私立	大阪成蹊大学
私立	大阪保健医療大学大学院
私立	大阪薬科大学大学院
私立	関西大学
私立	近畿大学大学院
私立	摂南大学
私立	関西国際大学
私立	関西福祉大学
私立	関西学院大学大学院
私立	神戸学院大学大学院
私立	神戸学院大学
私立	神戸芸術工科大学
私立	神戸芸術工科大学大学院
私立	神戸夙川学院大学
私立	神戸女子大学
私立	神戸常盤大学
私立	神戸薬科大学大学院
私立	兵庫大学
私立	兵庫医療大学大学院
私立	武庫川女子大学大学院
私立	武庫川女子大学
私立	奈良学園大学
私立	環太平洋大学
私立	広島国際大学大学院
私立	梅光学院大学
私立	松山大学大学院
私立	産業医科大学大学院
私立	純真学園大学
私立	西南学院大学
私立	福岡大学大学院
私立	福岡女学院大学
私立	九州看護福祉大学大学院
私立	沖縄科学技術大学院大学
私立短大	拓殖大学北海道短期大学
私立短大	昭和学院短期大学
私立短大	鈴鹿大学短期大学部
私立短大	華頂短期大学
私立高専	金沢工業高等専門学校

平成27年度 設置計画履行状況等調査意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
1	公立	山形県立米沢栄養大学	認可	大学設置	健康栄養学部 健康栄養学科	26	○ 既設学部等（山形県立米沢女子短期大学日;改善意見 本史学科）の入学定員超過の改善に努める こと。
2	公立	埼玉県立大学大学院	認可	専攻設置又は 課程変更	保健医療福祉学研究科 保健医療福祉学専攻（D）	27	○ 福祉学分野の専任教員については、引き続;改善意見 き充実するよう努めること。（保健医療福; 祉学研究科保健医療福祉学専攻（D）） ○ 教育課程の中で、どのように3領域を連携;改善意見 させていくのかが十分に説明されていな い。実際の学生に対する教育、研究指導に; おいてどのように3つの領域が連携してい るのか、実績を踏まえて具体的に報告する こと。（保健医療福祉学研究科保健医療福; 祉学専攻（D））
3	公立	新潟県立大学大学院	認可	大学院設置	国際地域学研究科 国際地域学専攻（M）	27	○ 国際地域学研究科国際地域学専攻（M）に;改善意見 おいて、定年規程に定める退職年齢を超え る専任教員数の割合が比較的高いことか ら、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用 に努めるとともに、教員組織編製の将来構 想について検討すること。
4	公立	教賀市立看護大学	認可	大学設置	看護学部 看護学科	26	○ 看護学部看護学科において、定年規程に定;改善意見 める退職年齢を超える専任教員数の割合が 比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏 まえた適切な運用に努めるとともに、教員 組織編製の将来構想について検討するこ と。
5	公立	静岡県立大学大学院	届出	研究科設置	薬食生命科学総合学府 薬学専攻（D）（4年制） 薬科学専攻（D） 食品栄養科学専攻（D） 環境科学専攻（D） 薬食生命科学専攻（D）	24	○ 平成26年度の調査において、大学院設置;改善意見 基準第10条第3項を満たしているとは言 い難い状況であり、適切な定員管理と收容 定員の変更を求める旨の是正意見が付され ている。今回示された定員管理の方針およ び定員超過は正の変更の計画に基づき、適 切な定員管理を行うとともに、遅滞なく計 画を履行すること。（薬科学専攻（D）） ○ 今年度提出された設置計画履行状況報告;改善意見 書、及び調査において示された資料に事実 と異なる記載が散見されることは、設置計 画の確実な履行及び正確な報告を行う観点 から不適切であるので、改善方を講じるこ と。（薬学専攻（D）（4年制）、薬科 学専攻（D）、食品栄養科学専攻（D）、 薬食生命科学専攻（D））
6	公立	和歌山県立医科大学大学院	認可	専攻設置又は 課程変更	保健看護学研究科 保健看護学専攻（D）	25	○ 保健看護学研究科保健看護学専攻（D）に;改善意見 おいて、定年規程に定める退職年齢を超え る専任教員数の割合が比較的高いことか ら、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用 に努めるとともに、教員組織編製の将来構 想について検討すること。
7	公立	福山市立大学	認可	大学設置	教育学部 児童教育学科 都市経営学部 都市経営学科	23	○ 教育学部児童教育学科において、定年規程;改善意見 に定める退職年齢を超える専任教員数の割 合が比較的高いことから、定年規程の趣旨 を踏まえた適切な運用に努めるとともに、 教員組織編製の将来構想について検討する こと。
8	公立	福山市立大学大学院	認可	大学院設置	教育学研究科 児童教育学専攻（M） 都市経営学研究科 都市経営学専攻（M）	27	○ 教育学研究科児童教育学専攻（M）におい;改善意見 て、定年規程に定める退職年齢を超える専 任教員数の割合が比較的高いことから、定 年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努め るとともに、教員組織編製の将来構想につ いて検討すること。
9	公立	愛媛県立医療技術大学大学院	認可	大学院設置	保健医療学研究科 看護学専攻（M） 医療技術科学専攻（M）	26	○ シラバスの科目内容の記載が統一されてお;改善意見 らず、講義によっては、各回の内容が同一 のテーマしか書かれていないことから、ど のようなことを学修するのか不明瞭であ る。特に共通科目については、自分の専攻 以外の分野の講義内容をシラバスから読み 取ることが難しいという学生の意見もあつ たため、各科目のシラバスの内容を見直 し、学生が容易に講義内容を理解できるよ うに修正すること。（保健医療学研究科）
10	私立	札幌大学	届出	学部設置	地域共創学群 人間社会学域	25	○ 既設学部等（札幌大学女子短期大学部キャ;改善意見 リアデザイン学科）の定員充足率の平均が 0.7倍未満となっていることから、学生確 保に努めるとともに、入学定員の見直しに ついて検討すること。
11	私立	札幌大谷大学	認可	学部設置	社会学部 地域社会学科	24	○ 社会学部地域社会学科の定員充足率の平均;改善意見 が0.7倍未満となっていることから、学生 確保に努めるとともに、入学定員の見直し について検討すること。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
							○ 社会学部地域社会学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
12	私立	札幌保健医療大学	認可	大学設置	看護学部 看護学科	25	○ 担当教員が不在で臨時的に非常勤講師に担当させている科目については、速やかに専任教員を補充すること。なお、主要科目については、原則として専任の教授または准教授が担当する必要があり、現状は大学設置基準第10条に抵触しているため、早急に教員を配置すること。また、実習等においても専任教員と非常勤教員の間で意思統一を図ること。（看護学部看護学科） ○ 担当教員がいる科目であっても、計画時より担当教員数が減少している科目については、担当者の負担を考慮し、教員の補充を適切に行うこと。（看護学部看護学科） ○ 教員の入れ替わりが多いことから、教員組織の一体化を図るため、FD活動を組織的・計画的に実施すること。（看護学部看護学科） ○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
13	私立	苫小牧駒澤大学	届出	学部学科設置	国際文化学部 キャリア創造学科	25	○ 国際文化学部キャリア創造学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 既設学部等（国際文化学部国際文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
14	私立	日本医療大学	認可	学部学科設置	保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻	27	○ 保健医療学部リハビリテーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
15	私立	北翔大学	届出	学部設置	教育文化学部 教育学科 芸術学科 心理カウンセリング学科	26	○ 教育文化学部芸術学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	生涯スポーツ学部 健康福祉学科	26	○ 生涯スポーツ学部健康福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
16	私立	北翔大学大学院	認可	研究科設置	生涯スポーツ学研究科 生涯スポーツ学専攻（M）	25	○ 既設学部等（北翔大学短期大学部ライフデザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
17	私立	北海商科大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	商学研究科 ビジネス専攻（D）	25	○ 商学研究科ビジネス専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
18	私立	北海道医療大学	届出	学部設置	リハビリテーション科学部 理学療法学科 作業療法学科	25	○ 既設学部等（歯学部歯学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科	27	

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
19	私立	北海道医療大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	
			届出	専攻設置又は課程変更	リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻（D）	27	
20	私立	北海道科学大学	認可	学部学科設置	保健医療学部 看護学科	26	○ シラバスにおいて、15週の授業の15週が定期試験となっている記載があるなど、単位当たりの必要な授業時間数が確保されていないような記載の科目があるため、大学設置基準第21条の授業時間数の考え方を遵守し、そのことがシラバスにも正確に表記されるよう改善すること。（保健医療学部看護学科、理学療法学科、診療放射線学科）
			認可	学部学科設置	保健医療学部 理学療法学科	26	○ 看護学科の定員超過に対して「助手やインストラクターを雇用し教育に支障はない」旨の説明だが、定員超過の状況を専任教員でなく助手やインストラクターで補うことは、教育水準・実習水準の確保の観点から不適切であるため、教育内容の質が担保できるような教員組織及び教育体制を構築すること。（保健医療学部看護学科）
			認可	学部学科設置	保健医療学部 診療放射線学科	26	○ 工学部建築学科の入学定員超過の改善に努めること。
			届出	学部学科設置	工学部 建築学科	26	
21	私立	北海道情報大学	届出	学部設置	医療情報学部 医療情報学科	25	○ 医療情報学部医療情報学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
22	私立	北海道文教大学大学院	認可	研究科設置	健康栄養科学研究科 健康栄養科学専攻（M）	27	○ 既設学部等（人間科学部理学療法学科）の入学定員超過の改善に努めること。
23	私立	北海道薬科大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 臨床薬学専攻（D）（4年制）	24	○ 既設学部等（北海道科学大学工学部建築学科）の入学定員超過の改善に努めること。
24	私立	青森中央学院大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	26	○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
25	私立	岩手医科大学大学院	認可	研究科設置	薬学研究科 医療薬学専攻（D）（4年制）	25	○ 既設学部等（歯学部歯学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
26	私立	石巻専修大学	認可	学部設置	人間学部 人間教育学科 人間文化学科	25	○ 理工学部生物科学科の入学定員超過の改善に努めること。
			届出	学部学科設置	理工学部 食環境学科	25	○ 人間学部人間文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	理工学部 生物科学科	25	○ 理工学部食環境学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 既設学部等（理工学部機械工学科、情報電子工学科、経営学部経営学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
27	私立	仙台大学	届出	学部学科設置	体育学部 現代武道学科	23	○ 体育学部現代武道学科の入学定員超過の改善に努めること。 ○ 体育学部現代武道学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 既設学部等（体育学部体育学科）の入学定員超過の改善に努めること。

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
28	私立	仙台白百合女子大学	届出	学部学科設置	人間学部 心理福祉学科	25	○ 人間学部心理福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
29	私立	東北学院大学	届出	学部学科設置	文学部 総合人文学科	23	○ 文学部総合人文学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
30	私立	東北工業大学	届出	学部学科設置	工学部 環境エネルギー学科	24	○ 工学部環境エネルギー学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
31	私立	東北福祉大学大学院	認可	研究科設置	教育学研究科 教育学専攻 (M)	27	○ 教育学研究科教育学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
32	私立	東北芸術工科大学	届出	学部学科設置	デザイン工学部 コミュニティデザイン学科	26	○ 既設学部等 (芸術学部文化財保存修復学科) の入学定員超過の改善に努めること。
33	私立	いわき明星大学	届出	学部設置	教養学部 地域教養学科	27	○ 教養学部地域教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
34	私立	福島学院大学	認可	学部学科設置	福祉学部 こども学科	27	○ 福祉学部こども学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 既設学部等 (福祉学部福祉心理学科、福島学院大学短期大学部情報ビジネス科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
35	私立	茨城キリスト教大学	認可	学部設置	経営学部 経営学科	23	○ 経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
36	私立	常磐大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	被害者学研究科 被害者学専攻 (D)	25	○ 既設学部等 (人間科学部コミュニケーション学科、国際学部英米語学科、コミュニティ振興学部コミュニティ文化学科、地域政策学科、ヒューマンサービス学科、常磐短期大学キャリア教養学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
37	私立	日本ウェルネススポーツ大学	認可	大学設置	スポーツプロモーション学部 スポーツプロモーション学科 (通信教育課程)	24	○ スポーツプロモーション学部スポーツプロモーション学科 (通信教育課程) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。
38	私立	足利工業大学	届出	学部学科設置	工学部 創生工学科	23	○ 工学部創生工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			認可	学部設置	看護学部 看護学科	26	○ 既設学部等 (足利短期大学こども学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
39	私立	宇都宮共和大学	認可	学部設置	子ども生活学部 子ども生活学科	23	<ul style="list-style-type: none"> 子ども生活学部子ども生活学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 既設学部等（シティライフ学部シティライフ学科、宇都宮短期大学音楽科、人間福祉学科社会福祉専攻、介護福祉専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
40	私立	作新学院大学	届出	学部学科設置	経営学部 経営学科	26	<ul style="list-style-type: none"> 経営学部スポーツマネジメント学科の入学定員超過の改善に努めること。
			届出	学部学科設置	経営学部 スポーツマネジメント学科	26	<ul style="list-style-type: none"> 既設学部等（人間文化学部人間文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
41	私立	群馬医療福祉大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	22	<ul style="list-style-type: none"> 看護学科の教授数が大学設置基準上必要とされる人数を満たしていないことから、教員の補充を速やかに行うこと。（看護学部看護学科）
			届出	学部設置	リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻	24	<ul style="list-style-type: none"> 既設学部等（群馬医療福祉大学短期大学部介護福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
42	私立	高崎健康福祉大学	認可	学部設置	人間発達学部 子ども教育学科	24	<ul style="list-style-type: none"> 人間発達学部子ども教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。
43	私立	東京福祉大学 【警告】	届出	学部設置	教育学部 教育学科	19	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程の改善として授業科目を大幅に変更しているが、過年度入学者が履修した科目が学則上から削除されており、経過措置や読替規定も存在していない。学生への説明は実施しているとの説明であったが、既得科目の読み替え等が学則等で明確に規定されていないのは適切でない。旧課程の履修者に対応した適切な規定を設け、学生に対して十分に説明すること。（教育学部教育学科、教育学部教育学科（通信教育課程））
			届出	通信開設	教育学部 教育学科（通信教育課程）	19	<ul style="list-style-type: none"> キャンパスが遠隔地に分散しており、同一科目が複数の教員により実施されていることについて、学修目標や成績評価基準について、一定の水準を保つために、教員間の連携等に関する仕組みを構築すること。（教育学部教育学科） シラバスの作成や科目の改正など、組織として適切に取り組んでいるか疑義がある。教学面における組織マネジメントを適切に行う体制を整備すること。（教育学部教育学科、教育学部教育学科（通信教育課程）） 既設学部等（社会福祉学部保育児童学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
44	私立	埼玉学園大学	届出	学部設置	経済経営学部 経済経営学科	25	<ul style="list-style-type: none"> 経済経営学部経済経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 経営学研究科経営学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。 経済経営学部経済経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
45	私立	埼玉学園大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	経営学研究科 経営学専攻（D）	25	○ 心理学研究科臨床心理学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
			認可	研究科設置	心理学研究科 臨床心理学専攻（M）	26	○ 子ども教育学研究科子ども教育学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
			認可	研究科設置	子ども教育学研究科 子ども教育学専攻（M）	27	○ 既設学部等（川口短期大学ビジネス実務学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
46	私立	十文字学園女子大学	届出	学部設置	人間生活学部 幼児教育学科 児童教育学科 人間発達心理学科 食物栄養学科 人間福祉学科 生活情報学科 メディアコミュニケーション学科	23	○ 人間生活学部健康栄養学科の入学定員超過の改善に努めること。改善意見
			届出	学部学科設置	人間生活学部 人間福祉学科	27	○ 人間生活学部メディアコミュニケーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	学部学科設置	人間生活学部 健康栄養学科	27	○ 人間生活学部文芸文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	学部学科設置	人間生活学部 文芸文化学科	27	○ 人間生活学部児童教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 人間生活学部食物栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
47	私立	城西大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	○ 開設以来入学定員超過の状態が続いている。収容定員の見直しを検討しているとしながら、未だ具体的な改善が踏られていない。大学院設置基準第10条第3項の趣旨を踏まえ、定員を適切に管理するとともに、定員超過の改善策を策定し、具体的にいつまでに何をするかを報告すること。（薬学研究科薬学専攻（D）（4年制））改善意見 ○ 既設学部等（理学部数学科）の入学定員超過の改善に努めること。改善意見 ○ 既設学部等（城西国際大学環境社会学部環境社会学科、観光学部ウェルネスツーリズム学科、城西短期大学ビジネス総合学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
48	私立	聖学院大学	届出	学部学科設置	人間福祉学部 子ども心理学科	24	○ 人間福祉学部子ども心理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
49	私立	東京国際大学	届出	学部学科設置	言語コミュニケーション学部 中国言語文化学科	25	○ 言語コミュニケーション学部中国言語文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
50	私立	獨協大学	届出	学部学科設置	経済学部 国際環境経済学科	25	○ 既設学部等（姫路獨協大学外国語学部外国語学、法学部法律学科、経済情報学部経済情報学科、医療保健学部子ども保健学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
51	私立	日本医療科学大学	届出	学部学科設置	保健医療学部 臨床工学科	24	○ 保健医療学部臨床工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
52	私立	日本保健医療大学	認可	大学設置	保健医療学部 看護学科	22	○ 保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
53	私立	日本薬科大学	届出	学部学科設置	薬学部 薬学科（6年制）	23	○ 薬学部薬学科（6年制）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（神戸医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
54	私立	植草学園大学	認可	大学設置	発達教育学部 発達支援教育学科 保健医療学部 理学療法学科	20	○ 保健医療学部理学療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（植草学園短期大学福祉学科地域介護福祉専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
55	私立	江戸川大学	認可	学部学科設置	メディアコミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科	26	○ メディアコミュニケーション学部子どもコミュニケーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（社会学部現代社会学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
56	私立	川村学園女子大学	届出	学部学科設置	文学部 日本文化学科	23	○ 文学部日本文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	学部学科設置	生活創造学部 生活文化学科	23	○ 生活創造学部生活文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	学部学科設置	生活創造学部 観光文化学科	23	○ 生活創造学部観光文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 生活創造学部生活文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 生活創造学部観光文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 人文科学研究科教育学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
57	私立	川村学園女子大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	人文科学研究科 教育学専攻（M）	23	○ 既設学部等（文学部国際英語学科、史学科、心理学科、教育学部児童教育学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
58	私立	淑徳大学	認可	学部学科設置	看護栄養学部 栄養学科	24	○ 看護栄養学部栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			届出	学部設置	経営学部 経営学科 観光経営学科	24	○ 経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			届出	学部設置	教育学部 こども教育学科	25	○ 教育学部こども教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			届出	学部設置	人文学部 表現学科 歴史学科	26	○ 人文学部歴史学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 既設学部等（淑徳大学短期大学部健康福祉学科介護福祉専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
59	私立	城西国際大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	24	○ 国際アドミニストレーション研究科国際アドミニストレーション専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ○ 既設学部等（城西大学理学部数学科）の入学定員超過の改善に努めること。
60	私立	城西国際大学大学院	認可	研究科設置	薬学研究科 医療薬学専攻（D）（4年制）	24	○ 既設学部等（環境社会学部環境社会学科、観光学部ウェルネスツーリズム学科、城西短期大学ビジネス総合学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	専攻設置又は課程変更	人文科学研究科 グローバルコミュニケーション専攻（M）	25	
			届出	研究科設置	国際アドミニストレーション研究科 国際アドミニストレーション専攻（M）	25	
61	私立	聖徳大学	届出	学部設置	心理・福祉学部 心理学科 心理学科（通信教育課程） 社会福祉学科 社会福祉学科（通信教育課程）	24	○ 文学部文学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部設置	文学部 文学科 文学科（通信教育課程）	25	○ 心理・福祉学部心理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			認可	学部設置	看護学部 看護学科	26	○ 心理・福祉学部心理学科（通信教育課程）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 文学部文学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
							○ 既設学部等（音楽学部演奏学科、聖徳大学短期大学部保育科第二部、総合文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
62	私立	千葉科学大学	届出	学部学科設置	危機管理学部 環境危機管理学科	24	○ 危機管理学部環境危機管理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			届出	学部学科設置	危機管理学部 動物危機管理学科	24	○ 危機管理学部動物危機管理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			認可	学部設置	看護学部 看護学科	26	○ 既設学部等（薬学部生命薬科学科、危機管理学部工学技術危機管理学科、倉敷芸術科学大学産業科学技術学部経営情報学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
63	私立	千葉科学大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	
64	私立	千葉商科大学	届出	学部設置	人間社会学部 人間社会学科	26	○ 人間社会学部人間社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
65	私立	東京基督教大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	神学研究科 神学専攻（D）	26	○ 神学研究科神学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 既設学部等（神学部国際キリスト教福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
66	私立	跡見学園女子大学	認可	学部設置	観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 コミュニティデザイン学科	27	○ 観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
67	私立	嘉悦大学	届出	学部設置	ビジネス創造学部 ビジネス創造学科	24	○ ビジネス創造学部ビジネス創造学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
68	私立	嘉悦大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	ビジネス創造研究科 ビジネス創造専攻（D）	24	○ ビジネス創造研究科ビジネス創造専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
69	私立	恵泉女学園大学	届出	学部学科設置	人間社会学部 社会園芸学科	25	○ 既設学部等（人間社会学部現代社会学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
70	私立	國學院大學	届出	学部学科設置	人間開発学部 子ども支援学科	25	○ 既設学部等（國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
71	私立	駒澤大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	グローバル・メディア研究科 グローバル・メディア専攻（D）	27	○ 既設学部等（苫小牧駒澤大学国際文化学部国際文化学科、キャリア創造学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
72	私立	駒沢女子大学	届出	学部学科設置	人文学部 心理学	25	○ 既設学部等（人文学部メディア表現学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
73	私立	実践女子大学	届出	学部学科設置	生活科学部 現代生活学科	26	○ 生活科学部現代生活学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
74	私立	順天堂大学	認可	学部設置	国際教養学部 国際教養学科	27	○ 国際教養学部国際教養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
75	私立	上智大学	届出	学部設置	総合グローバル学部 総合グローバル学科	26	○ 既設学部等（外国語学部ポルトガル語学科）の入学定員超過の改善に努めること。改善意見
76	私立	昭和女子大学	届出	学部設置	グローバルビジネス学部 ビジネスデザイン学科	25	○ グローバルビジネス学部ビジネスデザイン学科の入学定員超過の改善に努めること。改善意見
77	私立	昭和女子大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 文学言語学専攻（D）	25	○ 文学研究科文学言語学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
78	私立	杉野服飾大学大学院	認可	大学院設置	造形研究科 造形専攻（M）	24	○ 造形研究科造形専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
79	私立	玉川大学	届出	学部設置	観光学部 観光学科	25	○ 既設学部等（農学部生物環境システム学科、工学部ソフトウェアサイエンス学科、マネジメントサイエンス学科）の入学定員超過の改善に努めること。改善意見
			届出	学部学科設置	芸術学部 メディア・デザイン学科	26	
			届出	学部学科設置	芸術学部 芸術教育学科	26	
			届出	学部学科設置	文学部 英語教育学科	27	
			届出	学部学科設置	工学部 エンジニアリングデザイン学科	27	
80	私立	玉川大学大学院	届出	研究科設置	脳科学研究科 心の科学専攻（M） 脳科学専攻（D）	26	
81	私立	帝京大学	届出	学部学科設置	経済学部 地域経済学科	23	○ 経済学部地域経済学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見
			届出	学部設置	教育学部 教育文化学科 初等教育学科	24	○ 文学研究科日本史・文化財学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見
			届出	学部学科設置	福岡医療技術学部 看護学科	26	○ 教育学部教育文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
			届出	学部学科設置	福岡医療技術学部 診療放射線学科	26	○ 福岡医療技術学部診療放射線学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
			届出	学部学科設置	福岡医療技術学部 医療技術学科	27	○ 福岡医療技術学部医療技術学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 既設学部等（理工学部機械・精密システム工学科、航空宇宙工学科、情報電子工学科、帝京大学短期大学人間文化学科、現代ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
82	私立	帝京大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	
			届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 日本史・文化財学専攻（D）	24	
			届出	専攻設置又は課程変更	公衆衛生学研究科 公衆衛生学専攻（D）	26	
83	私立	帝京平成大学	届出	学部学科設置	現代ライフ学部 観光経営学科	25	○ 現代ライフ学部観光経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。
84	私立	帝京平成大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	健康科学研究科 病院前救急医療学専攻（M）	26	○ 健康科学研究科病院前救急医療学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。
85	私立	東海大学	届出	学部学科設置	海洋学部 航海工学科 航海学専攻 海洋機械工学専攻	23	○ 海洋学部航海工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部設置	生物学部 生物学科 海洋生物科学科	24	○ 国際文化学部デザイン文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	国際文化学部 デザイン文化学科	24	○ 経営学部観光ビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部設置	経営学部 経営学科 観光ビジネス学科	25	○ 既設学部等（東海大学福岡短期大学情報処理工学）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部設置	基盤工学部 電気電子情報工学科 医療福祉工学科	25	
86	私立	東海大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 医用生体工学専攻（M）	26	
			届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 観光学専攻（M）	26	
			届出	専攻設置又は課程変更	海洋学研究科 海洋学専攻（M）	27	
87	私立	東京有明医療大学大学院	認可	大学院設置	保健医療学研究科 保健医療学専攻（M） 看護学研究科 看護学専攻（M）	25	○ 保健医療学研究科保健医療学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			認可	専攻設置又は課程変更	保健医療学研究科 保健医療学専攻（D）	27	○ 既設学部等（保健医療学部鍼灸学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
88	私立	東京医療学院大学	認可	大学設置	保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻	24	○ 保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
89	私立	東京工科大学	届出	学部設置	工学部 機械工学科 電気電子工学科 応用化学科	27	○ 工学部電気電子工学科の入学定員超過の改善に努めること。改善意見
90	私立	東京電機大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	理工学研究科 電子・機械工学専攻（M）	25	○ 理工学研究科建築・都市環境学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見
			届出	専攻設置又は課程変更	理工学研究科 建築・都市環境学専攻（M）	25	○ 理工学研究科電子・機械工学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
91	私立	東京都市大学	届出	学部設置	環境学部 環境創生学科 環境マネジメント学科	25	○ 既設学部等（知識工学部自然科学科）の入学定員超過の改善に努めること。改善意見
			届出	学部設置	メディア情報学部 社会メディア学科 情報システム学科	25	
92	私立	東京都市大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	環境情報学研究科 都市生活学専攻（M）	25	
93	私立	東京富士大学	届出	学部学科設置	経営学部 イベントプロデュース学科	25	○ 経営学部イベントプロデュース学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（経営学部経営学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
94	私立	東京未来大学	届出	学部設置	モチベーション行動科学部 モチベーション行動科学科	24	○ モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	通信開設	モチベーション行動科学部 モチベーション行動科学科（通信教育課程）	25	○ モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見 ○ モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科（通信教育課程）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
95	私立	東京理科大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	○ 既設学部等（諏訪東京理科大学経営情報学部経営情報学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
96	私立	東洋大学	届出	学部設置	食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻 スポーツ・食品機能専攻 健康栄養学科	25	○ 食環境科学部健康栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
97	私立	東洋学園大学	届出	学部設置	グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科	25	○ グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
98	私立	日本大学	届出	学部学科設置	文理学部 社会福祉学科	25	○ 生物資源科学部くらしの生物学科の入学定員超過の改善に努めること。改善意見

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
			届出	学部学科設置	理工学部 まちづくり工学科	25	○ 既設学部等（第二部法学部法律学科、日本大学短期大学部ビジネス教養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	学部学科設置	理工学部 応用情報工学科	25	
			届出	学部学科設置	生物資源科学部 くらしの生物学科	27	
99	私立	日本大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	
			届出	専攻設置又は課程変更	新聞学研究科 新聞学専攻（D）	25	
100	私立	日本体育大学	認可	学部設置	保健医療学部 整復医療学科 救急医療学科	26	○ 保健医療学部整復医療学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 保健医療学部救急医療学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
101	株立	ビジネス・ブレイクスルー大学	認可	学部設置	経営学部 グローバル経営学科（通信教育課程） ITソリューション学科（通信教育課程）	22	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（経営学部ITソリューション学科（通信教育課程））改善意見
102	私立	法政大学	届出	学部学科設置	生命科学部 応用植物科学科	26	○ 開設以来大幅に定員を超過した状態が継続していることについて、平成27年度の入学者選抜試験での対応により、定員超過率は一定の改善が図られている。しかしながら、未だ定員を超過した状態が継続していることから、大学院設置基準第10条第3項の趣旨を踏まえ、引き続き定員を適切に管理し、入学定員の変更も含めて、定員超過を改善すること。（公共政策研究科公共政策学専攻（D））改善意見
103	私立	法政大学大学院	届出	研究科設置	公共政策研究科 公共政策学専攻（D）	24	○ 理工学研究科電気電子工学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見
			届出	研究科設置	理工学研究科 機械工学専攻（M） 機械工学専攻（D） 電気電子工学専攻（M） 電気電子工学専攻（D） 応用情報工学専攻（M） 応用情報工学専攻（D） システム工学専攻（M） システム工学専攻（D） 応用化学専攻（M） 応用化学専攻（D） 生命機能学専攻（M） 生命機能学専攻（D）	25	○ 理工学研究科電気電子工学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見 ○ 生命科学部応用植物科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 理工学研究科機械工学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 理工学研究科機械工学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見

NO.	設置者 区分	大学名等	認可 又は 届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設 年度	是正意見又は改善意見
							<ul style="list-style-type: none"> ○ 理工学研究科システム工学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 理工学研究科システム工学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 理工学研究科応用化学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 理工学研究科応用化学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
104	私立	星薬科大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	○ 既設学部等（薬学部創薬科学科）の入学定員超過の改善に努めること。改善意見
105	私立	武蔵大学	届出	学部学科設置	人文学部 英語英米文化学科	23	○ 人文学部英語英米文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
106	私立	武蔵野大学	届出	学部設置	法学部 法律学科 政治学科	26	○ 法学部法律学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
			届出	学部設置	経済学部 経済学科 経営学科	26	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経済学部経済学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 経済学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 看護学研究科看護学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 政治経済学研究科政治経済学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 仏教学研究科仏教学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 文学研究科日本文学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
107	私立	武蔵野大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	看護学研究科 看護学専攻（D）	25	
			認可	専攻設置又は課程変更	政治経済学研究科 政治経済学専攻（D）	25	
			届出	研究科設置	仏教学研究科 仏教学専攻（D）	25	

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
			届出	研究科設置	文学研究科 日本文学専攻 (M)	26	
108	私立	明星大学	届出	学部設置	経営学部 経営学科	24	○ 既設学部等（いわき明星大学教養学部地域・改善意見 教養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未 満となっていることから、学生確保に努め るとともに、入学定員の見直しについて検 討すること。
			届出	学部設置	デザイン学部 デザイン学科	26	
109	私立	明星大学大学院	届出	研究科設置	教育学研究科 教育学専攻 (M) 教育学専攻 (D)	26	
110	私立	ヤマザキ学園大学	認可	大学設置	動物看護学部 動物看護学科	22	○ 動物看護学部動物看護学科において、定年規 程に定める退職年齢を超える専任教員数 の割合が比較的高いことから、定年規程の 趣旨を踏まえた適切な運用に努めるととも に、教員組織編制の将来構想について検討 すること。
111	私立	関東学院大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	25	○ 建築・環境学部建築・環境学科において、改善意見 定年規程に定める退職年齢を超える専任教 員数の割合が比較的高いことから、定年規 程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めると ともに、教員組織編制の将来構想について 検討すること。
			届出	学部設置	理工学部 理工学科	25	○ 既設学部等（法学部法学科）の定員充足率改善意見 の平均が0.7倍未満となっていることか ら、学生確保に努めるとともに、入学定員 の見直しについて検討すること。
			届出	学部設置	建築・環境学部 建築・環境学科	25	
			届出	学部設置	教育学部 こども発達学科	27	
			届出	学部設置	栄養学部 管理栄養学科	27	
			届出	学部設置	社会学部 現代社会学科	27	
112	私立	相模女子大学	認可	学部学科設置	学芸学部 生活デザイン学科	25	○ 既設学部等（学芸学部英語文化コミュニ ケーション学科、メディア情報学科、人間 社会学部社会マネジメント学科）の定員充 足率の平均が0.7倍未満となっていること から、学生確保に努めるとともに、入学定 員の見直しについて検討すること。
113	私立	松蔭大学	届出	学部学科設置	経営文化学部 経営法学科	24	○ 経営文化学部経営法学科の定員充足率の平均改善意見 が0.7倍未満となっていることから、学 生確保に努めるとともに、入学定員の見 直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	コミュニケーション文化学部 生活心理学科	24	○ コミュニケーション文化学部生活心理学科改善意見 の定員充足率の平均が0.7倍未満となっ ていることから、学生確保に努めるととも に、入学定員の見直しについて検討するこ と。
			届出	学部学科設置	観光メディア文化学部 メディア情報文化学科	25	○ 観光メディア文化学部メディア情報文化学改善意見 科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっ ていることから、学生確保に努めるととも に、入学定員の見直しについて検討するこ と。
			届出	学部学科設置	経営文化学部 金融経済学科	25	○ 経営文化学部金融経済学科の定員充足率改善意見 の平均が0.7倍未満となっていることか ら、学生確保に努めるとともに、入学定員 の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	コミュニケーション文化学部 日本文化コミュニケーション学科	25	○ コミュニケーション文化学部日本文化改善意見 コミュニケーション学科の定員充足率の平均 が0.7倍未満となっていることから、学 生確保に努めるとともに、入学定員の見 直しについて検討すること。
			認可	学部設置	看護学部 看護学科	27	○ 経営文化学部経営法学科において、定年規 程に定める退職年齢を超える専任教員数 の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏 まえた適切な運用に努めるとともに、教員 組織編制の将来構想を策定し、着実に実行 すること。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
							<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーション文化学部生活心理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見 ○ 経営文化学部金融経済学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見 ○ 観光メディア文化学部メディア情報文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（経営文化学部ビジネスマネジメント学科、コミュニケーション文化学部異文化コミュニケーション学科、観光メディア文化学部観光文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
114	私立	昭和音楽大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	音楽研究科 音楽芸術専攻（D）	26	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽研究科音楽芸術専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見 ○ 既設学部等（音楽学部器楽学科）の入学定員超過の改善に努めること。改善意見 ○ 既設学部等（音楽学部作曲学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
115	私立	星槎大学大学院	認可	大学院設置	教育学研究科 教育学専攻（M）（通信教育課程）	25	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育学研究科教育学専攻（M）（通信教育課程）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（共生科学部共生科学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
116	私立	横浜創英大学	認可	大学設置	看護学部 看護学科 こども教育学部 幼児教育学科	24	<ul style="list-style-type: none"> ○ 看護学部においては、毎年定員を大幅に超過して学生を受け入れており、特に、推薦入試については定員の50%である募集人員を大きく超える合格者を毎年出している。大学設置基準第18条第3項及び大学入学者選抜実施要項に照らして適切な入学者選抜と定員管理がなされていないことから、推薦入試においては、自ら定めた募集人員に沿って適切な入学者選抜を行うとともに、全体としても大学設置基準第18条第3項に照らして適切な定員管理を行うこと。（看護学部看護学科）是正意見 ○ 看護学部においては、完成年度を迎えると同時に14人もの専任教員が辞任しており、かつ、「小児看護学実習Ⅰ」、「小児看護学実習Ⅱ」、「在宅看護方法論Ⅰ」、「在宅看護方法論Ⅱ」等、主要科目として位置付けられている科目に専任教員が配置されていない、又は専任ではあっても講師が担当している状態が散見される。これは、大学設置基準第10条に抵触しているため、早急に専任の教授又は准教授を当該科目担当として配置すること。また、その他の科目も含め、教員補充について「検討」の段階は既に過ぎている状況であり、完成年度をもつての退職者も含めて具体的に中長期的な教員の採用計画、年次計画を早急に策定し実施すること。その際、新たな教員の採用や教員の昇格においては、教員の資格について定める大学設置基準第14条から第17条の規定に則り適切に実施すること。（看護学部看護学科）是正意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
							<ul style="list-style-type: none"> ○ こども教育学部においては、平成26年度のみ指定校推薦入試の定員枠を増やし、かつ定員管理が適切になされなかったことで、大幅な定員超過を生じた一方で、当該年度以外は定員未充足が続いている。定員未充足の原因を分析し定員充足に努めること。（こども教育学部幼児教育学科） ○ 学生が年間に取得している単位数が多く、また現在自分が何単位取得しているかという認識を持っていない学生も多く見受けられ、履修指導体制が十分ではない。学生が、資格取得の要件との関係だけで履修を進めるのではなく、各年次にわたって適切に授業科目を履修することができ、かつ学修成果と単位の実質化を担保できるよう、必要に応じてCAP制を導入するなどし、十分な履修指導体制を構築すること。（看護学部看護学科、こども教育学部幼児教育学科） ○ 報告書やシラバス等において、誤記載が散見され、設置計画の履行状況の正しい把握に支障が生じたとともに、学生に提示する書類等における誤記載も懸念される。そのため、相互チェック体制の構築も含め、誤りのない正確な書類作成を行うよう、対応策を早急に策定し、体制の強化を図ること。（看護学部看護学科、こども教育学部幼児教育学科） ○ 各臨地実習の要項について、分野により、事前学修内容から評価項目まで行動レベルで明確になっているものがある一方で、どのような内容の実習かが全く不明なものがある等、要項の記載内容の差が著しく、本学の臨地実習でどのように看護実践能力を積み重ねようとしているのか不明である。また、実習ごとの到達目標のレベルや評価項目も整合しておらず、実習を通して学生が看護実践能力を統合していくことができるのか懸念される。そのため、教育課程全体の中での臨地実習の位置付けを明確にし、看護実践能力の習得という観点から、各実習での到達目標を明確にし、4年次の最終実習でどのような実践能力を身につけている必要があり、そのために各領域でどのような位置付けでどのような実習を行うのか、といった相互の関係性についても明確にした上で、実習計画や実習要項を適切に修正すること。（看護学部看護学科） ○ こども教育学部幼児教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。（こども教育学部幼児教育学科）
117	私立	横浜薬科大学	認可	大学設置	薬学部 健康薬学科（6年制） 漢方薬学科（6年制） 臨床薬学科（6年制）	18	○ 薬学部臨床薬学科（6年制）の入学定員超過の改善に努めること。
			届出	学部学科設置	薬学部 薬科学科	27	○ 薬学部薬科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
118	私立	新潟医療福祉大学	届出	学部学科設置	医療技術学部 視機能科学科	26	<ul style="list-style-type: none"> ○ シラバスにおいて、1単位の科目の回数7回となっていたり、さらに7回目が定期試験と記載されている科目等が見受けられ、大学設置基準第21条の授業時間数を確保できていない科目が見受けられる。単位当たりに必要な授業時間数を適切に確保するとともに、シラバスは実態と整合した記載とすること。（医療技術学部視機能科学科） ○ 教員1人当たりの担当授業科目数が多いこと、科目負担に偏りがあることについて、昨年度も辞任等があり状況が改善されていない。次年度は更に学生も増え、実習指導も増えることから、引き続き、新規教員の採用や教員間の担当科目数の偏りの見直しを検討する等、学生への教育はもとより、教員の研究にも支障のない体制となるよう改善すること。（医療技術学部視機能科学科）

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
119	私立	新潟医療福祉大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	医療福祉学研究所 医療情報・経営管理学専攻（M）	26	○ 医療福祉学研究所医療情報・経営管理学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
120	私立	新潟工科大学	届出	学部学科設置	工学部 工学科	27	○ 工学部工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
121	私立	新潟青陵大学	届出	学部設置	福祉心理学部 社会福祉学科 臨床心理学科	27	○ 福祉心理学部臨床心理学科の入学定員超過の改善に努めること。
122	私立	新潟青陵大学大学院	認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	26	○ 看護学研究科看護学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
123	私立	新潟薬科大学	届出	学部学科設置	応用生命科学部 応用生命科学科	24	○ 応用生命科学部生命産業創造学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	応用生命科学部 生命産業創造学科	27	○ 既設学部等（新潟工業短期大学自動車工業科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
124	私立	新潟薬科大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	
125	私立	金沢工業大学	届出	学部学科設置	工学部 情報工学科	24	○ 工学部情報工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
126	私立	金城大学	届出	学部学科設置	医療健康学部 作業療法学科	25	○ 医療健康学部作業療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			認可	学部設置	看護学部 看護学科	27	○ リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
127	私立	金城大学大学院	認可	大学院設置	リハビリテーション学研究科 リハビリテーション学専攻（M）	27	
128	私立	北陸学院大学	届出	学部学科設置	人間総合学部 社会学科	24	○ 人間総合学部社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
							○ 人間総合学部社会学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
129	私立	福井工業大学	届出	学部学科設置	工学部 建築土木工学科	24	○ 環境情報学部環境・食品科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。
			認可	学部設置	スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科	27	○ 環境情報学部デザイン学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
			届出	学部設置	環境情報学部 環境・食品科学科 経営情報学科 デザイン学科	27	○ 工学研究科応用理工学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見
130	私立	福井工業大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 応用理工学専攻（M）	24	○ 工学研究科応用理工学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見
			届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 応用理工学専攻（D）	24	○ スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
			届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 社会システム学専攻（D）	24	○ 工学部建築土木工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（工学部原子力技術応用工学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
131	私立	山梨学院大学	認可	学部設置	国際リベラルアーツ学部 国際リベラルアーツ学科	27	○ 国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
132	私立	佐久大学大学院	認可	大学院設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	24	○ 看護学研究科看護学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（佐久大学信州短期大学部介護福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
133	私立	諏訪東京理科大学	届出	学部設置	工学部 機械工学科 電気電子工学科 コンピュータメディア工学科	26	○ 既設学部等（経営情報学部経営情報学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
134	私立	諏訪東京理科大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	工学・マネジメント研究科 工学・マネジメント専攻（D）	24	
135	私立	長野保健医療大学	認可	大学設置	保健科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻	27	○ 保健科学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
136	私立	朝日大学	認可	学部設置	保健医療学部 看護学科	26	○ 既設学部等（法学部法学科、経営学部経営学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
137	私立	岐阜経済大学	届出	学部学科設置	経済学部 公共政策学科	24	○ 既設学部等（経済学部経済学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
138	私立	中部学院大学	届出	学部学科設置	看護リハビリテーション学部 看護学科	26	○ 看護リハビリテーション学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
139	私立	東海学院大学	届出	学部学科設置	健康福祉学部 管理栄養学科	26	<p>○ 入学定員の充足率が低いことに関して、高 校訪問や指定校入試の再開等、「地域に根 差した大学作り」や「質の高い学生確保」 のために様々な大学としての取組を行って いることから、これが実効性あるものとな るよう引き続き取り組むこと。（健康福祉 学部管理栄養学科）</p> <p>○ 教員組織の編制について、届出時の計画で は24名の専任教員を配置する計画であっ たが、開設後2年目の専任教員数は16名 であり、当初の計画どおり教員組織の編制 が履行されていない。今年度策定する完成 年度までの教員の配置計画に則り、適切に 教員を補充して、教育研究の指導体制を整 備すること。（健康福祉学部管理栄養学 科）</p> <p>○ 健康福祉学部管理栄養学科の定員充足率の 平均が0.7倍未満となっていることから、 学生確保に努めるとともに、入学定員の見 直しについて検討すること。</p> <p>○ 既設学部等（健康福祉学部総合福祉学科、 人間関係学部子ども発達学科、東海学院大 学短期大学部幼児教育学科）の定員充足率 の平均が0.7倍未満となっていることか ら、学生確保に努めるとともに、入学定員 の見直しについて検討すること。</p>
140	私立	静岡産業大学	届出	学部学科設置	経営学部 心理経営学科	24	<p>○ 経営学部心理経営学科において、定年規程 に定める退職年齢を超える専任教員数の割 合が比較的高いことから、定年規程の趣旨 を踏まえた適切な運用に努めるとともに、 教員組織編制の将来構想について検討す ること。</p>
141	私立	静岡福祉大学	認可	学部設置	子ども学部 子ども学科	27	<p>○ 子ども学部子ども学科の定員充足率の平均 が0.7倍未満となっていることから、学生 確保に努めるとともに、入学定員の見直し について検討すること。</p>
142	私立	聖隷クリストファー大学	届出	学部学科設置	社会福祉学部 介護福祉学科	23	<p>○ 社会福祉学部介護福祉学科の定員充足率の 平均が0.7倍未満となっていることから、 学生確保に努めるとともに、入学定員の見 直しについて検討すること。</p>
143	私立	聖隷クリストファー大学大学 院	届出	専攻設置又は 課程変更	社会福祉学 研究科 社会福祉学専攻（D）	23	<p>○ 社会福祉学研究科社会福祉学専攻（D）に おいて、定年規程に定める退職年齢を超え る専任教員数の割合が高いことから、定年 規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努め るとともに、教員組織編制の将来構想を策定 し、着実に実行すること。</p>
			届出	専攻設置又は 課程変更	看護学 研究科 看護学専攻（D）	23	<p>○ 看護学研究科看護学専攻（D）において、 定年規程に定める退職年齢を超える専任教 員数の割合が比較的高いことから、定年規 程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めると ともに、教員組織編制の将来構想について 検討すること。</p>
144	私立	常葉大学	認可	学部設置	法学部 法律学科	25	<p>○ 法学部法律学科において、定年規程に定め る退職年齢を超える専任教員数の割合が比 較的高いことから、定年規程の趣旨を踏ま えた適切な運用に努めるとともに、教員組 織編制の将来構想について検討すること。</p>
			認可	学部設置	健康科学部 看護学科 静岡理学療法学科	25	<p>○ 健康プロデュース学部健康鍼灸学科におい て、定年規程に定める退職年齢を超える専 任教員数の割合が比較的高いことから、定 年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努め るとともに、教員組織編制の将来構想につ いて検討すること。</p>
			認可	学部設置	健康プロデュース学部 健康栄養学科 こども健康学科 心身マネジメント学科 健康鍼灸学科 健康柔道整復学科	25	<p>○ 保育学部保育学科において、定年規程に定 める退職年齢を超える専任教員数の割合が 比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏 まえた適切な運用に努めるとともに、教員 組織編制の将来構想について検討す ること。</p>
			認可	学部設置	保健医療学部 理学療法学科 作業療法学科	25	<p>○ 既設学部等（教育学部初等教育課程）の入 学定員超過の改善に努めること。</p>
			認可	学部設置	社会環境学部 社会環境学科	25	<p>○ 既設学部等（常葉大学短期大学部日本語日 本文学科、音楽科、英語英文科）の定員充 足率の平均が0.7倍未満となっていること から、学生確保に努めるとともに、入学定 員の見直しについて検討すること。</p>

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
			認可	学部設置	保育学部 保育学科	25	
			認可	学部設置	経営学部 経営学科	25	
145	私立	愛知淑徳大学大学院	届出	研究科設置	文化創造研究科 文化創造専攻（D）	25	○ 文化創造研究科文化創造専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
			届出	研究科設置	心理医療科学研究科 心理医療科学専攻（D）	25	○ 心理医療科学研究科心理医療科学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
146	私立	愛知東邦大学	届出	学部設置	教育学部 子ども発達学科	26	○ 教育学部子ども発達学科の入学定員超過の改善に努めること。改善意見
147	私立	岡崎女子大学	認可	大学設置	子ども教育学部 子ども教育学科	25	○ 子ども教育学部子ども教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
148	私立	同朋大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	人間福祉研究科 臨床心理学専攻（M）	27	○ 既設学部等（文学部仏教学科、名古屋音楽大学音楽学部音楽学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
149	私立	豊橋創造大学	届出	学部設置	経営学部 経営学科	24	○ 経営学部経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（豊橋創造大学短期大学部キャリアプランニング科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
150	私立	名古屋学院大学	認可	学部学科設置	スポーツ健康学部 子どもスポーツ教育学科	27	○ スポーツ健康学部子どもスポーツ教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
151	私立	名古屋商科大学	届出	学部学科設置	経済学部 総合政策学科	26	○ 経済学部総合政策学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（経済学部経済学科、コミュニケーション学部グローバル教養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
152	私立	名古屋文理大学	届出	学部設置	情報メディア学部 情報メディア学科	24	○ 既設学部等（名古屋文理大学短期大学部食物栄養学科製菓専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
153	私立	南山大学大学院	届出	研究科設置	理工学研究科 システム数理解専攻（M） ソフトウェア工学専攻（M） 機械電子制御工学専攻（M）	25	○ 理工学研究科システム数理解専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
154	私立	日本福祉大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	27	○ 既設学部等（経済学部経済学科、国際福祉開発学部国際福祉開発学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
155	私立	人間環境大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	27	○ 看護学研究科看護学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見
156	私立	人間環境大学大学院	認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻（M） 看護学専攻（D）	27	○ 看護学研究科看護学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見 ○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（人間環境学部人間環境学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
157	私立	藤田保健衛生大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	保健学研究科 医療科学専攻（D）	27	○ 既設学部等（医療科学部リハビリテーション学科、臨床工学科、医療経営情報学科）の入学定員超過の改善に努めること。改善意見
158	私立	鈴鹿大学	届出	学部設置	国際人間科学部 国際学科	27	○ 既設学部等（鈴鹿大学短期大学部生活コミュニケーション学科生活コミュニケーション学専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
159	私立	四日市大学	届出	学部学科設置	経済学部 経済経営学科	25	○ 経済学部経済経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（環境情報学部環境情報学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
160	私立	聖泉大学大学院	認可	大学院設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	27	○ 看護学研究科看護学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見
161	私立	びわこ学院大学	届出	学部学科設置	教育福祉学部 スポーツ教育学科	26	○ 教育福祉学部スポーツ教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 教育福祉学部スポーツ教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（びわこ学院大学短期大学部ライフデザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
162	私立	びわこ成蹊スポーツ大学	届出	学部学科設置	スポーツ学部 スポーツ学科	27	○ 「教養演習A」、「英語I」等の各科目について、大学教育として適切な内容となるよう再度精査し、シラバスもあわせて修正すること。なお、科目を履修するに当たっては必要に応じて正課教育外のリメディアル教育で補完すること。さらに、アドミッションポリシーに沿って適切な選抜を行うよう改善を図ること。（スポーツ学部スポーツ学科）是正意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
							<p>○ 一部の科目において、中間テストの成績によって、その後の授業が免除されている実態があるが、この場合、大学が定める授業の時間が確保されておらず、大学設置基準第21条第2項に抵触しているため、授業時間が適切に確保されるよう改善すること。（スポーツ学部スポーツ学科）</p> <p>○ 学生募集を停止した2学科及び本学科について、継続的に定員を超過している状態は、大学設置基準第18条第3項に規定する適切な定員管理がなされていないと判断せざるを得ない。次年度より定員を増加することとなっているが、同規定の趣旨を踏まえ、適切な定員管理を行うとともに、専任教員の配置、施設・設備等の教育研究環境の整備・充実に努めること。（スポーツ学部スポーツ学科）</p> <p>○ 本学から提出された報告書には、記載の多くの誤りがあり、設置計画履行状況の正確な報告がなされなかったことから、ミスの再発防止に向けた組織的なチェック体制を早急に構築し運用すること。（スポーツ学部スポーツ学科）</p> <p>○ 同一科目において、評価基準・方法が教員ごとで異なる科目があり、学生に混乱を与えていると思われる。また、シラバスの成績評価方法において、「出席状況（20%）」のように出席自体を成績評価の基準としている科目が見受けられる。そのため、それらが大学教育の質を担保するにふさわしい評価基準であるか検討し、必要に応じて見直すとともに、FD等を通じて大学としての統一的な教育方針を教員間で共有し、適切な評価が行えるようにすること。あわせて、成績評価基準等の明示を定めた大学設置基準第25条の2の趣旨を踏まえ、評価方法についてシラバスに適切に記載すること。（スポーツ学部スポーツ学科）</p>
163	私立	大谷大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 教育・心理学専攻（M）	25	<p>○ 文学研究科教育・心理学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。</p> <p>○ 既設学部等（文学部仏教学科、大谷大学短期大学部仏教科、九州大谷大学短期大学福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
164	私立	京都学園大学	認可	学部設置	健康医療学部 看護学科 言語聴覚学科 健康スポーツ学科	27	<p>○ 健康医療学部言語聴覚学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
			届出	学部設置	経済経営学部 経済学科 経営学科	27	<p>○ バイオ環境学部食農学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>
			届出	学部学科設置	バイオ環境学部 食農学科	27	<p>○ 健康医療学部言語聴覚学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。</p> <p>○ 健康医療学部健康スポーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。</p> <p>○ 経済経営学部経済学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。</p>

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
							○ 経済経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。
165	私立	京都華頂大学	認可	大学設置	現代家政学部 現代家政学科	23	○ 現代家政学部現代家政学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。
166	私立	京都光華女子大学	認可	学部学科設置	健康科学部 看護学科	23	○ 健康科学部心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	健康科学部 心理学科	26	○ 健康科学部医療福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	健康科学部 医療福祉学科 社会福祉専攻 言語聴覚専攻	26	○ 看護学研究科看護学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。
			認可	学部設置	こども教育学部 こども教育学科	27	○ 健康科学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。
167	私立	京都光華女子大学大学院	認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻(M)	27	○ 既設学部等(キャリア形成学部キャリア形成学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
168	私立	京都女子大学大学院	認可	研究科設置	法学研究科 法学専攻(M)	27	○ 法学研究科法学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。
169	私立	京都精華大学	届出	学部設置	ポピュラーカルチャー学部 ポピュラーカルチャー学科	25	○ ポピュラーカルチャー学部ポピュラーカルチャー学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	デザイン学部 イラスト学科	25	○ 既設学部等(芸術学部素材表現学科、人文学部総合人文学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
170	私立	京都造形芸術大学	届出	学部学科設置	芸術学部 マンガ学科	23	○ 芸術学部文芸表現学科の入学定員超過の改善に努めること。
			届出	学部学科設置	芸術学部 文芸表現学科	23	○ 既設学部等(芸術学部アートプロデュース学科、キャラクターデザイン学科、舞台芸術学科)の入学定員超過の改善に努めること。
			届出	学部学科設置	芸術学部 芸術教養学科(通信教育課程)	25	
171	私立	京都造形芸術大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	芸術研究科 芸術専攻(M)	27	
172	私立	京都美術工芸大学	認可	大学設置	工芸学部 伝統工芸学科	24	○ 工芸学部伝統工芸学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。
173	私立	同志社女子大学大学院	認可	研究科設置	薬学研究科 医療薬学専攻(D)(4年制)	24	○ 薬学研究科医療薬学専攻(D)(4年制)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見	
174	私立	大阪観光大学	認可	学部設置	国際交流学部 国際交流学科	25	<p>○ 認可時の留意事項について、平成26年度以降の対応状況の報告が無いため、平成27年度までの対応、検討の状況を報告するとともに、引き続き完成年度に向けて対応すること。（国際交流学部国際交流学科）</p> <p>○ 未だ定員充足率が非常に低い水準であることから、定員設定の妥当性の検証を行わずに、引き続き積極的かつ正確な広報活動を行うなど学生確保に努め、定員未充足の状態を改善すること。（国際交流学部国際交流学科）</p> <p>○ 国際交流学部国際交流学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	
175	私立	大阪経済法科大学	届出	学部学科設置	経済学部 経営学科	26	<p>○ 経済学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	
176	私立	大阪経済法科大学大学院	認可	大学院設置	経済学研究科 経済学専攻（M）	27	<p>○ 経済学研究科経済学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	
177	私立	大阪国際大学	届出	学部設置	グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科	26	<p>○ 国際教養学部国際コミュニケーション学科の入学定員超過の改善に努めること。</p>	
				届出	学部設置	国際教養学部 国際コミュニケーション学科 国際観光学科	27	<p>○ グローバルビジネス学部グローバルビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>○ 既設学部等（人間科学部心理コミュニケーション学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
178	私立	大阪樟蔭女子大学	届出	学部学科設置	学芸学部 国際英語学科	22	<p>○ 学芸学部国際英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	
				届出	学部設置	健康栄養学部 健康栄養学科	27	<p>○ 人間科学研究科化粧品ファッション学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>
				届出	学部学科設置	学芸学部 心理学科	27	<p>○ 既設学部等（学芸学部国文学科、ライフランニング学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
179	私立	大阪樟蔭女子大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	人間科学研究科 化粧品ファッション学専攻（M）	25		
180	私立	大阪女学院大学大学院	認可	大学院設置	21世紀国際共生研究科 平和・人権システム専攻（D）	21	<p>○ 21世紀国際共生研究科平和・人権システム専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	
181	私立	大阪総合保育大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	児童保育研究科 児童保育専攻（D）	24	<p>○ 入学定員を大幅に超過していることについて、大学院設置基準第10条第3項の趣旨を踏まえ、学生の教育環境や個々の教員の負担を考慮し、教育研究の質が維持向上されるよう、定員を適切に管理し、定員超過を改善すること。（児童保育研究科児童保育専攻（D））</p>	
							<p>○ 児童保育研究科児童保育専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見	
							○ 既設学部等（大阪城南女子短期大学現代生活学科、人間福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	
182	私立	大阪体育大学	認可	学部設置	教育学部 教育学科 小学校教育コース 保健体育教育コース	27	○ 教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	
183	私立	大阪人間科学大学	届出	学部学科設置	人間科学部 医療福祉学科 介護福祉専攻 視能訓練専攻	24	○ 人間科学部医療福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	
				届出	学部学科設置	人間科学部 子ども福祉学科	24	○ 人間科学部子ども福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
				届出	学部学科設置	人間科学部 医療心理学科 臨床発達心理専攻 言語聴覚専攻	24	○ 人間科学部医療福祉学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 人間科学部子ども福祉学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 既設学部等（人間科学部健康心理学科、社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
184	私立	大阪行岡医療大学	認可	大学設置	医療学部 理学療法学科	24	○ 医療学部理学療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	
185	私立	関西大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	社会安全研究科 防災・減災専攻（D）	24	○ 社会安全研究科防災・減災専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	
186	私立	関西医療大学	届出	学部学科設置	保健医療学部 臨床検査学科	25	○ 保健医療学部臨床検査学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	
187	私立	関西外国語大学	届出	学部学科設置	英語キャリア学部 英語キャリア学科 小学校教員コース	25	○ 英語キャリア学部英語キャリア学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	
188	私立	四條畷学園大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	27	○ 既設学部等（四條畷学園短期大学ライフデザイン総合学科総合福祉コース）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	
189	私立	四天王寺大学	届出	学部学科設置	人文社会学部 国際キャリア学科	24	○ 既設学部等（四天王寺大学短期大学生活ナビゲーション学科ライフケア専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	
				届出	学部学科設置	人文社会学部 日本学科		24
190	私立	摂南大学大学院	届出	研究科設置	経済経営学研究科 経済学専攻（M） 経営学専攻（M）	26	○ 経済経営学研究科経済学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
							<ul style="list-style-type: none"> ○ 経済経営学研究科経営学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
191	私立	相愛大学	届出	学部学科設置	音楽学部 音楽マネジメント学科	23	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽学部音楽マネジメント学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	学部学科設置	人文学部 人文学科	25	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人文学部人文学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（音楽学部音楽学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
192	私立	太成学院大学	届出	学部学科設置	人間学部 子ども発達学科	24	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学科にコースが設けられ、各コースのカリキュラムポリシーが掲げられているが、科目の大幅な廃止やコース名の変更等により、福祉心理コースに福祉系の科目が十分に配置されていない、「心理学や教育学の視点から」と掲げられているにも関わらず、学科の心理学系の科目が廃止されている等、コース名、カリキュラムポリシーと教育課程に不整合が生じている。コース名とカリキュラムポリシーに見合った教育課程となるよう修正すること。（人間学部）改善意見
			届出	学部学科設置	人間学部 健康スポーツ学科	24	<ul style="list-style-type: none"> ○ 募集要項に記載されているアドミッションポリシーと「学生必携」に記載されているカリキュラムポリシーがほぼ同一の内容となっていることは適切ではない。それぞれにふさわしいポリシーに修正すること。（人間学部健康スポーツ学科）改善意見
			届出	学部学科設置	人間学部 人間心理応用学科	24	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学科に置くコースとして「福祉心理」という名称を用いているが、福祉に関する科目が不十分であるため、引き続き「福祉心理」コースを設けるのであれば、福祉を体系的に学修できる科目を追加するなどコース名に相応しい教育課程となるよう改善すること。（人間学部人間心理応用学科）改善意見 ○ シラパスの内容と科目名（「子ども発達学基礎演習Ⅰ、Ⅱ」）の不整合が見受けられるので、次年度のシラパスを作成するに当たっては、科目名と科目内容が整合するよう十分に確認すること。（人間学部子ども発達学科）改善意見 ○ 人間学部子ども発達学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 人間学部人間心理応用学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（経営学部現代ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
193	私立	帝塚山学院大学	届出	学部学科設置	人間科学部 キャリア英語学科	27	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人間科学部キャリア英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
194	私立	梅花女子大学	認可	学部設置	食文化学部 食文化学科	24	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食文化学部食文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
			認可	学部学科設置	看護保健学部 口腔保健学科	27	<ul style="list-style-type: none"> ○ 看護保健学部口腔保健学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（文化表現学部日本文化創造学（改善意見科））の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
195	私立	東大阪大学	届出	学部学科設置	こども学部 アジアこども学科	23	<ul style="list-style-type: none"> ○ こども学部アジアこども学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（東大阪大学短期大学部健康栄養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
196	私立	プール学院大学	届出	学部設置	教育学部 教育学科	26	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
197	私立	大和大学	認可	大学設置	教育学部 教育学科 初等幼児教育専攻 国語教育専攻 数学教育専攻 英語教育専攻 保健医療学部 看護学科 総合リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻 言語聴覚専攻	26	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健医療学部看護学科及び総合リハビリテーション学科理学療法専攻の入学定員超過の状態が続いている。指定校推薦の導入や総合リハビリテーション学科については併願制の導入などにより改善のための一定の取組を行っていることは認められるが、改善のための更なる方策を検討し、入学定員超過の改善に努めること。（保健医療学部）改善意見 ○ シラバスの一部の科目において、各回の授業内容や課題、評価方法が不明な科目が見受けられるため、学生にとって分かりやすくするように改善すること。（教育学部、保健医療学部）改善意見 ○ 保健医療学部看護学科は認可時には計28名の専任教員を配置する予定であったが、調査時に専任教員は20名であることや、リハビリテーション学科理学療法専攻には教授の専任教員が配置されていないなど、当初の教員配置計画が適切に履行されていない。教育の質や教員の負担、教員の授業以外の研究活動に支障が出る懸念されることから、適切に教員を補充して、教育研究の指導体制を整備すること。（保健医療学部）改善意見 ○ 教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見 ○ 保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（白鳳短期大学総合人間学（3年制）看護学専攻、リハビリテーション専攻）の入学定員超過の改善に努めること。改善意見 ○ 既設学部等（白鳳短期大学総合人間学（2年制）国際人間学専攻、こども教育専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
198	私立	関西看護医療大学大学院	認可	大学院設置	看護学研究科 看護学専攻 (M)	25	○ 看護学研究科看護学専攻 (M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
199	私立	関西国際大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	人間行動学研究科 臨床教育学専攻 (M)	26	○ 人間行動学研究科臨床教育学専攻 (M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
			認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻 (M)	27	○ 看護学研究科看護学専攻 (M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
200	私立	関西学院大学	届出	学部学科設置	理工学部 先進エネルギーナノ工学科	27	○ 理工学部先進エネルギーナノ工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
201	私立	甲子園大学	届出	学部学科設置	心理学部 現代応用心理学科	23	○ 心理学部現代応用心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
							○ 既設学部等(栄養学部フードデザイン学科、甲子園短期大学生活環境学科生活環境専攻、介護福祉専攻、幼児教育保育学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
202	私立	神戸医療福祉大学	届出	学部学科設置	社会福祉学部 社会福祉学科	25	○ 社会福祉学部社会福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 社会福祉学部社会福祉学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
203	私立	神戸松蔭女子学院大学	届出	学部学科設置	文学部 英語学科	23	○ 文学部英語学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
204	私立	神戸山手大学	届出	学部学科設置	現代社会学部 総合社会学科	25	○ 現代社会学部総合社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
				届出	学部学科設置	現代社会学部 観光文化学科	27
205	私立	宝塚大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	22	○ 既設学部等(東京メディア芸術学部メディア芸術学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	学部学科設置	造形芸術学部 想像力創造学科	22	
206	私立	宝塚医療大学	認可	大学設置	保健医療学部 理学療法学科 柔道整復学科 鍼灸学科	23	○ 入学定員充足率が著しく低く、設置時の入学定員の設定の考え方が適切ではなかったと言わざるを得ない。引き続き学生確保に努めるとともに、抜本的な改善策として入学定員の見直しの検討を進め、収容定員に基づく適正な定員管理に努めること。(保健医療学部鍼灸学科)改善意見 ○ シラバスの成績評価基準について、「総合的に判定」や出席を評価基準にするなど、客観性や厳格性が確保されていないと思われる科目がある。大学教育の質を担保するために相応しい評価基準を全学として検討した上で、各教員に周知徹底しシラバスに反映するよう適切に見直すこと。(保健医療学部)改善意見

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
							<ul style="list-style-type: none"> ○ 留年や退学者の割合が高いことへの対応として、全学的に教員のサポート体制や進級要件について検討しているとのことであるので、早急に対応策を決定し、学生への周知も含め、適切な対応を実施すること。また、A O入試において基礎学力を確認できるよう改めるといふ改善策も示されていることから、A O入試の改善についても取り組むこと。（保健医療学部） ○ 平成27年度末で多数の教員が辞任することが判明していることから、確実に教員を補充し、科目の未開講や廃止等による教育研究への影響がないよう十分に配慮すること。（保健医療学部理学療法学科） ○ 次年度よりカリキュラムを改正する計画があるため、旧カリキュラムが適用される在籍学生に支障がないように科目を開講するとともに、新旧カリキュラムが併存する期間には学生が混乱しないようにより丁寧な履修指導を行い、かつ、教員に過度の負担が生じないように適切に運用すること。（保健医療学部） ○ 保健医療学部鍼灸学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
207	私立	流通科学大学	届出	学部設置	人間社会学部 人間社会学科 観光学科 人間健康学科	27	○ 人間社会学部人間健康学科の入学定員超過の改善に努めること。
208	私立	畿央大学大学院	認可	研究科設置	教育学研究科 教育実践学専攻（M）	26	○ 教育学研究科教育実践学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
209	私立	帝塚山大学	届出	学部学科設置	文学部 文化創造学科	26	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文学部文化創造学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 文学部文化創造学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ○ 既設学部等（経済学部経済学科、経営学部経営学科、法学部法学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
210	私立	天理医療大学	認可	大学設置	医療学部 看護学科 臨床検査学科	24	○ 認可時の留意事項として、専任教員の補充を必要とされた授業科目にまだ専任教員が配置されていない科目が1科目（「障がい論」）あることから、早急に専任教員を配置すること。（医学部看護学科）
211	私立	天理大学大学院	認可	研究科設置	体育学研究科 体育学専攻（M）	27	○ 体育学研究科体育学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
212	私立	高野山大学	届出	学部学科設置	文学部 人間学科	27	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文学部人間学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 既設学部等（文学部密教学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
213	私立	鳥取看護大学	認可	大学設置	看護学部 看護学科	27	○ 既設学部等（鳥取短期大学生生活学科住居・デザイン専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
214	私立	岡山理科大学	届出	学部設置	生物地球学部 生物地球学科	24	○ 既設学部等（倉敷芸術科学大学産業科学技術学部経営情報学科、千葉科学大学薬学部生命薬科学科、危機管理工学技術危機管理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
215	私立	吉備国際大学	届出	学部学科設置	保健医療福祉学部 社会福祉学科	23	○ 保健医療福祉学部社会福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			認可	通信開設	心理学部 子ども発達教育学科（通信教育課程）	24	○ 社会科学部経営社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			認可	学部設置	地域創成農学部 地域創成農学科	25	○ 外国語学部外国学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	学部学科設置	社会科学部 経営社会学科	25	○ アニメーション文化学部アニメーション文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	学部設置	外国語学部 外国学科	26	○ 心理学部子ども発達教育学科（通信教育課程）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見
			届出	学部設置	アニメーション文化学部 アニメーション文化学科	26	○ 地域創成農学部地域創成農学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（保健医療福祉学部理学療法学科、九州保健福祉大学生命医科学科）の入学定員超過の改善に努めること。改善意見 ○ 既設学部等（心理学部心理学科、九州保健福祉大学社会福祉学部臨床福祉学科、子ども保育福祉学科、保健科学部視機能療法学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
216	私立	倉敷芸術科学大学	届出	学部学科設置	産業科学技術学部 経営情報学科	23	○ 産業科学技術学部経営情報学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	学部学科設置	生命科学部 健康医療学科	23	○ 既設学部等（千葉科学大学薬学部生命薬科学科、危機管理工学技術危機管理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
217	私立	山陽学園大学大学院	認可	大学院設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	25	○ 看護学研究科看護学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 既設学部等（総合人間学部言語文化学科、生活心理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
218	私立	就実大学	認可	学部設置	経営学部 経営学科	26	○ 既設学部等（教育学部教育心理学科）の入学定員超過の改善に努めること。改善意見
219	私立	就実大学大学院	認可	研究科設置	医療薬学研究科 疾病治療薬学専攻（D）（4年制）	24	
			届出	研究科設置	教育学研究科 教育学専攻（M）	27	

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
220	私立	中国学園大学	認可	学部設置	国際教養学部 国際教養学科	27	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際教養学部国際教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 国際教養学部国際教養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 既設学部等（中国短期大学総合生活学科、情報ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
221	私立	比治山大学	認可	学部設置	健康栄養学部 管理栄養学科	26	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既設学部等（比治山大学短期大学総合生活デザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
222	私立	広島経済大学	認可	学部学科設置	経済学部 スポーツ経営学科	23	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経済学部スポーツ経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
223	私立	広島工業大学	届出	学部設置	生命学部 生体医工学科 食品生命科学科	24	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既設学部等（工学部建築工学科）の入学定員超過の改善に努めること。
224	私立	広島国際大学	認可	学部設置	医療栄養学部 医療栄養学科	26	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療栄養学部医療栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
225	私立	広島国際学院大学	届出	学部設置	情報文化学部 情報デザイン学科 現代社会学科	25	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報文化学部現代社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
				学部学科設置	工学部 生産工学科	25	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工学部生産工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
226	私立	広島女学院大学	届出	学部学科設置	国際教養学部 国際教養学科	24	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際教養学部国際教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
				学部学科設置	人間生活学部 幼児教育心理学科	24	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人間生活学部幼児教育心理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
227	私立	広島都市学園大学	認可	学部設置	子ども教育学部 子ども教育学科	26	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初等教育コースを選択する学生が履修する科目について、各教科の基礎に関する科目は3科目の履修を求めるとともに、各教科の教育法は全ての科目が必修となっており、基礎を学ばずに教育法を学ぶ教育課程であるとの誤解を招く。学生に対して、各教科の基礎に関する科目について全科目を取得する旨をあらかじめ明示すること。（子ども教育学部子ども教育学科） ○ 教授会規程において、理事長や学長等が教授会の構成員となっていることについて、学長が重要事項を決定する際に、教授会が意見具申を適切に行える体制が確保される規程となるよう、適切に改めること。（子ども教育学部子ども教育学科） ○ 子ども教育学部子ども教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
							○ 子ども教育学部子ども教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
228	私立	広島文化学園大学	届出	学部学科設置	社会情報学部 グローバルビジネス学科	25	○ 社会情報学部グローバルビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
229	私立	広島文化学園大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	看護学研究科 看護学専攻（D）	24	○ 看護学研究科看護学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見
			認可	研究科設置	教育学研究科 子ども学専攻（M）	26	○ 教育学研究科子ども学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見 ○ 社会情報学部グローバルビジネス学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
230	私立	福山大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 医療薬学専攻（D）（4年制）	24	○ 既設学部等（経済学部経済学科、国際経済学科、税務会計学科、人間文化学部人間文化学科、メディア情報文化学科、工学部システム工学学科、情報工学科、機械システム工学学科、生命工学部生命栄養科学科、福山平成大学経営学部経営学科、福祉健康学部福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
231	私立	安田女子大学	届出	学部学科設置	文学部 書道学科	23	○ 文学部書道学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
			届出	学部設置	心理学部 心理学科	24	○ 心理学部心理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
			届出	学部設置	教育学部 児童教育学科	24	○ 教育学部児童教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
			認可	学部設置	看護学部 看護学科	26	○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
232	私立	安田女子大学大学院	認可	研究科設置	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	25	○ 薬学研究科薬学専攻（D）（4年制）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
			認可	研究科設置	家政学研究科 健康生活学専攻（M）	25	○ 家政学研究科健康生活学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
233	私立	東亜大学	届出	学部学科設置	人間科学部 心理臨床・子ども学科	24	○ 人間科学部心理臨床・子ども学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
			届出	学部学科設置	人間科学部 国際交流学科	24	○ 人間科学部国際交流学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	人間科学部 スポーツ健康学科	24	○ 総合学術研究科臨床心理学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。
234	私立	東亜大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科 臨床心理学専攻（M）	27	○ 総合学術研究科臨床心理学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			届出	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科 臨床心理学専攻（D）	27	○ 総合学術研究科デザイン専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			届出	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科 人間科学専攻（M）	27	○ 総合学術研究科医療科学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			届出	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科 人間科学専攻（D）	27	○ 既設学部等（医療学部健康栄養学科、芸術学部トータルビューティ学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科 デザイン専攻（M）	27	
			届出	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科 デザイン専攻（D）	27	
			届出	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科 医療科学専攻（M）	27	
			届出	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科 医療科学専攻（D）	27	
235	私立	四国大学大学院	認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	25	○ 看護学研究科看護学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 既設学部等（文学部書道文化学科、国際文化学科、経営情報学部メディア情報学科、四国大学短期大学ビジネス・コミュニケーション科、人間健康科食物栄養専攻、介護福祉専攻、音楽科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
236	私立	徳島文理大学	届出	学部学科設置	保健福祉学部 診療放射線学科	24	○ 保健福祉学部診療放射線学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			届出	学部学科設置	保健福祉学部 臨床工学科	24	○ 保健福祉学部臨床工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
237	私立	徳島文理大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	○ 看護学研究科看護学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
			認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	26	○ 既設学部等（人間生活学部人間生活学科、メディアデザイン学科、建築デザイン学科、音楽学部音楽学科、薬学部薬学科（6年制）、文学部日本文学科、英語英米文化学科、文化財学科、理工学部機械創造工学科、ナノ物質工学科、徳島文理大学短期大学部生活科学科生活科学専攻、食物専攻、保育科、言語コミュニケーション学科、音楽科、商科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
238	私立	聖カタリナ大学	届出	学部学科設置	人間健康福祉学部 人間社会学科	23	○ 既設学部等（人間健康福祉学部社会福祉学科学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	学部学科設置	人間健康福祉学部 健康スポーツ学科	26	
239	私立	九州栄養福祉大学	認可	学部設置	リハビリテーション学部 理学療法学科 作業療法学科	23	○ リハビリテーション学部理学療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見 ○ リハビリテーション学部作業療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見
240	私立	サイバー大学	認可	大学設置	IT総合学部 IT総合学科（通信教育課程）	19	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（IT総合学部IT総合学科（通信教育課程））改善意見
241	私立	筑紫女学園大学	届出	学部設置	現代社会学部 現代社会学科	27	○ 現代社会学部現代社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
242	私立	日本経済大学	届出	学部学科設置	経済学部 健康スポーツ経営学科	24	○ 経済学部健康スポーツ経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
			届出	学部設置	経営学部 経営学科	26	○ 経営学研究科経営学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
243	私立	日本経済大学大学院	認可	大学院設置	経営学研究科 経営学専攻（M）	24	○ 経営学研究科経営学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。改善意見
			認可	専攻設置又は課程変更	経営学研究科 経営学専攻（D）	26	○ 既設学部等（経済学部経済学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
244	私立	福岡工業大学	認可	取容定員増	工学部 電子情報工学科 生命環境科学科 知能機械工学科 電気工学科 情報工学科 情報工学科 情報通信工学科 情報システム工学科 システムマネジメント学科 社会環境学部 社会環境学科		○ 「英語初級Ⅰ・Ⅱ」、「基礎物理学」等の各科目について、大学教育として適切な内容となるよう再度精査し、シラバスもあわせて修正すること。なお、科目を履修するに当たっては必要に応じて正課教育外のリメディアル教育で補充すること。（情報工学部情報通信工学科）是正意見

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
							<ul style="list-style-type: none"> ○ 大幅な定員超過は、教員へ過度の負担を強いるとともに、ひいては教育の質の低下を招く原因となることから、学生の教育環境及び教育の質を確保するために、大学が自ら定めた定員の適正な管理に努めること。(情報工学部情報通信工学科) ○ シラバスの表記方法(講義計画や評価方法)にばらつきがあり、教員によっては具体的内容を記載していない科目も見受けられることから、FD等を通じて全体の表記方法を統一するとともに、学生が内容を把握できるよう具体的に記載すること。(情報工学部情報通信工学科) ○ 辞任した教員の担当科目は他の専任教員が担当することにより学生の授業科目の履修等に影響はないとしているが、改めて検証し、必要があれば教員の配置を適切に見直すこと。(情報工学部情報通信工学科) ○ 大学設置基準は満たしているものの、教授の人数が当初計画から減少しているため、教育課程を実施する体制として十分であるのか懸念されることから、適切に教員を補充して指導体制を整備すること。(情報工学部情報通信工学科)
245	私立	福岡女学院大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	人文科学研究科 発達教育学専攻(M)	27	<ul style="list-style-type: none"> ○ 認可時の留意事項である「3領域を発達教育学という1つの体系化されたものとして教授する内容となるよう、不断に検証し見直しを図ること」に対して、「教員間で『発達教育学』について固まりつつある」という説明で、十分に体系化されたとは言えない。「発達教育学」が体系化されたものとなるよう検証を継続し改善を図ること。(人文科学研究科発達教育学専攻(M)) ○ 学位論文の具体的な審査基準が作成されておらず、また明確な方針も確認することができなかったため、本専攻の学位論文の審査が適正なものとなるのか疑義がある。本専攻の学位論文の具体的な審査基準を早急に策定すること。(人文科学研究科発達教育学専攻(M))
246	私立	保健医療経営大学	認可	大学設置	保健医療経営学部 保健医療経営学科	20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育館の整備計画については、現在大学において様々な検討を行っている旨の報告がなされているが、その対応状況について詳細に報告すること。(保健医療経営学部保健医療経営学科) ○ 保健医療経営学部保健医療経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
247	私立	西九州大学	届出	学部設置	健康栄養学部 健康栄養学科	26	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども学部心理カウンセリング学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 既設学部等(西九州大学短期大学部食物栄養学科、生活福祉学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	健康福祉学部 スポーツ健康福祉学科	26	
			認可	学部学科設置	子ども学部 心理カウンセリング学科	26	
248	私立	西九州大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	生活支援科学研究科 臨床心理学専攻(M)	26	
			認可	専攻設置又は課程変更	生活支援科学研究科 リハビリテーション学専攻(M)	26	
			届出	専攻設置又は課程変更	生活支援科学研究科 健康栄養学専攻(M)	26	
			認可	専攻設置又は課程変更	生活支援科学研究科 地域生活支援学専攻(D)	27	
			認可	専攻設置又は課程変更	生活支援科学研究科 子ども学専攻(M)	27	
			届出	専攻設置又は課程変更	生活支援科学研究科 地域生活支援学専攻(M)	27	

No.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
249	私立	長崎ウエスレヤン大学	届出	学部学科設置	現代社会学部 経済政策学科	22	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会学部経済政策学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 現代社会学部経済政策学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 既設学部等（現代社会学部社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
250	私立	長崎国際大学大学院	認可	研究科設置	薬学研究科 医療薬学専攻（D）（4年制）	26	<ul style="list-style-type: none"> 既設学部等（人間社会学部社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
251	私立	長崎総合科学大学	届出	学部設置	総合情報学部 総合情報学科	26	<ul style="list-style-type: none"> 総合情報学部総合情報学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
252	私立	崇城大学大学院	認可	研究科設置	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	<ul style="list-style-type: none"> 既設学部等（工学部建築学科）の入学定員超過の改善に努めること。 既設学部等（工学部宇宙航空システム工学科、芸術学部デザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
253	私立	九州保健福祉大学	届出	学部設置	生命医科学部 生命医科学科	27	<ul style="list-style-type: none"> 生命医科学部生命医科学科の入学定員超過の改善に努めること。
254	私立	九州保健福祉大学大学院	認可	研究科設置	医療薬学研究科 医療薬学専攻（D）（4年制）	24	<ul style="list-style-type: none"> 生命医科学部生命医科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 既設学部等（吉備国際大学保健医療福祉学部理学療法学科）の入学定員超過の改善に努めること。 既設学部等（吉備国際大学社会科学部経営社会学科、保健医療福祉学部社会福祉学科、心理学部心理学科、外国語学部外国語科、アニメーション文化学部アニメーション文化学科、九州保健福祉大学社会福祉学部臨床福祉学科、保健科学部視機能療法学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
255	私立	宮崎国際大学	認可	学部設置	教育学部 児童教育学科	26	<ul style="list-style-type: none"> シラバスについて、ホームページで公開しているものと冊子として発行しているもの間で、担当教員名の整合性が取れていないことから、記載内容を点検し、正確な情報を学生に示すこと。（教育学部児童教育学科） 教育学部児童教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 教育学部児童教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 既設学部等（国際教養学部比較文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
256	私立	第一工業大学	届出	学部学科設置	工学部 航空工学科	23	<ul style="list-style-type: none"> 工学部航空工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
			届出	学部学科設置	工学部 自然環境工学科	23	<ul style="list-style-type: none"> 工学部自然環境工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 既設学部等（工学部機械システム工学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
257	私立短大	帯広大谷短期大学	届出	短大学科設置	地域教養学科	26	<ul style="list-style-type: none"> 既設学部等（社会福祉科介護福祉専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
258	私立短大	札幌大学女子短期大学部	届出	短大学科設置	キャリアデザイン学科	25	<ul style="list-style-type: none"> 資格の取得によって、本学における授業科目の単位として認定されているが、本学の教育課程にはない科目名で単位認定されることとなっている。本学で開講されておらず単位認定のための名称だけの科目であれば、短期大学設置基準第15条に照らして不適切である。短期大学設置基準に照らして適切な運用となるよう、早急に制度の改廃を検討し、見直しを行うこと。（キャリアデザイン学科） シラパスのない科目があることから、全科目のシラパスを作成し、学生に提示すること。（キャリアデザイン学科） 「インターンシップ」及び「海外研修」について、大学としての授業計画が立てられておらず、それぞれ研修に関する条件（実働時間や研修期間の下限や研修内容の条件等）が示されているのみで、所定の条件を満たした場合に単位認定としている。事前のガイダンスと事後の報告書又はレポート提出等のみの直接指導では専任教員が責任をもつ指導体制及び安全管理の体制としては不備が認められるなど、大学設置基準等に照らして適切な運用に疑義がある。教育課程の編成方針を定めた短期大学設置基準第5条、単位について定めた第7条及び短期大学以外の教育施設等における学修を定めた第15条等の趣旨を踏まえ適切な運用となるよう見直すこと。（キャリアデザイン学科） キャリアデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 キャリアデザイン学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。
259	私立短大	青森市の星短期大学	届出	短大学科設置	子ども福祉未来学科 保育専攻 介護福祉専攻	26	<ul style="list-style-type: none"> 子ども福祉未来学科介護福祉専攻の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 子ども福祉未来学科保育専攻において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 子ども福祉未来学科介護福祉専攻において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
260	私立短大	弘前医療福祉大学短期大学部	認可	短大学科設置	救急救命学科（3年制）	26	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命学科（3年制）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 既設学部等（生活福祉学科介護福祉専攻、食育福祉専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
261	私立短大	仙台青葉学院短期大学	届出	短大学科設置	リハビリテーション学科 理学療法専攻 昼間主コース（3年制） 夜間主コース（3年制） 作業療法専攻（3年制）	25	○ リハビリテーション学科作業療法専攻（3年制）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
			認可	短大学科設置	栄養学科	27	○ 栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
262	私立短大	東京福祉大学短期大学部	認可	通信開設	こども学科（3年制）（通信教育課程）	19	○ 既設学部等（東京福祉大学社会福祉学部保育児童学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
263	私立短大	小田原短期大学	認可	通信開設	保育学科（通信教育課程）	26	○ 既設学部等（東京未来大学モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
264	私立短大	大垣女子短期大学	届出	短大学科設置	看護学科（3年制）	25	○ 看護学科（3年制）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
265	私立短大	岐阜保健短期大学	認可	短大設置	看護学科（3年制）	19	○ 教員組織の編制については、公募方法の見直しや教員負担の軽減等により、継続性は一定程度の改善が見受けられる。しかしながら、採用後すぐの退職や学期中に退職するケースが見られること、また、報告書や調査時の説明において、専任教員として報告されている教員が専任とはいえない勤務形態であったことや、専任教員の辞任の理由、年齢、教員の担当科目が実際と異なっていること等、いまだ、継続性のある教員組織と十分な実習の指導体制が確立されているかどうかについて懸念が残る。正しい情報により改めて設置時からの履行状況を報告し、引き続き教員組織の継続性、教育研究の質の担保に努めること。（看護学科（3年制））改善意見
							○ 看護学科（3年制）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見
							○ 既設学部等（リハビリテーション学科理学療法専攻、作業療法専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
266	私立短大	東海学院大学短期大学部	届出	短大学科設置	幼児教育学科	26	○ 幼児教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
							○ 既設学部等（東海学院大学健康福祉学部総合福祉学科、管理栄養学科、人間関係学部子ども発達学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
267	私立短大	愛知江南短期大学	届出	短大学科設置	こども健康学科 栄養専攻 保育専攻	25	○ こども健康学科栄養専攻の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
							○ こども健康学科栄養専攻において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	是正意見又は改善意見
268	私立短大	名古屋経営短期大学	届出	短大学科設置	未来キャリア学科	26	<p>○ 未来キャリア学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見</p> <p>○ 既設学部等（子ども学科、健康福祉学科、名古屋産業大学環境情報ビジネス学部環境情報ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見</p>
269	私立短大	鈴峯女子短期大学	届出	短大学科設置	キャリア創造学科	26	<p>○ 既設学部等（食物栄養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見</p>
270	私立短大	宮崎学園短期大学	届出	短大学科設置	現代ビジネス科	26	<p>○ 現代ビジネス科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。改善意見</p> <p>○ 既設学部等（宮崎国際大学国際教養学部比較文化学科、教育学部児童教育学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見</p>

大学の設置認可・届出の総件数

○ 設置届出制の導入後、設置総件数は増加したが、平成19年度以降は減少傾向。

○ 組織改編全体の過半を届出設置が占める。

(16年度58.5%、17年度67.6%、18年度73.9%、19年度68.8%、20年度74.8%、21年度75.1%、22年度77.2%、23年度74.9%、24年度77.5%、25年度75.1%、26年度65.9%、27年度62.7%、28年度70.3%)

設置認可・届出の総件数の推移

平成15年4月から設置届出制を導入
(平成16年度開設分)

法科大学院の認可が集中
公立：2 私立：46

薬学関係学科の届出が集中
公立：6 私立：62

薬学関係博士課程（4年制）の認可・届出が集中
(認可) 公立：0 私立：10
(届出) 公立：3 私立：28

開設年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
認可	277	196	127	126	110	87	78	66	52	53	
届出	1	276	265	356	243	258	235	223	155	183	
設置総件数	278	472	392	482	353	345	313	289	207	236	
総数の 事項別内訳	公立	155 (1)	249 (194)	213 (165)	315 (260)	224 (175)	218 (174)	189 (146)	164 (134)	124 (102)	105 (87)
	大学院	123	223 (82)	179 (100)	167 (96)	129 (68)	127 (84)	124 (89)	118 (89)	83 (53)	131 (96)
	大学・短大	7 (1)	6 (1)	12 (5)	21 (18)	15 (14)	19 (18)	10 (7)	7 (7)	3 (1)	8 (7)
	大学院	24	26 (11)	15 (5)	26 (19)	15 (6)	22 (13)	22 (13)	14 (9)	10 (6)	10 (7)
	小計	31 (1)	32 (12)	27 (10)	47 (37)	30 (20)	41 (31)	32 (20)	21 (16)	13 (7)	18 (14)
	私立	148	243 (193)	201 (160)	294 (242)	209 (161)	199 (156)	179 (139)	157 (127)	121 (101)	97 (80)
大学院	99	197 (71)	164 (95)	141 (77)	114 (62)	105 (71)	102 (76)	104 (80)	73 (47)	121 (89)	
小計	247	440 (264)	365 (255)	435 (319)	323 (223)	304 (227)	281 (215)	261 (207)	194 (148)	218 (169)	

開設年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
認可	46	63	63	(50)	
届出	139	122	106	(117)	
設置総件数	185	185	169	167	
総数の 事項別内訳	公立	116 (93)	117 (85)	99 (68)	101 (75)
	大学院	69 (46)	68 (37)	70 (38)	66 (42)
	大学・短大	2 (1)	5 (3)	2 (2)	7 (5)
	大学院	13 (11)	9 (3)	13 (9)	8 (4)
	小計	15 (12)	14 (6)	15 (11)	15 (9)
	私立	114 (92)	112 (82)	97 (66)	94 (70)
大学院	56 (35)	59 (34)	57 (29)	58 (38)	
小計	170 (127)	171 (116)	154 (95)	152 (108)	

(注1) 件数は、設置組織数ベース。

(注2) 事項別内訳の括弧内は、届出による内数。

(注3) 平成18年度開設の薬学関係学科については、形式的な組織改編を伴わない修業年限変更も含む。

(注4) 平成24年度開設の薬学関係博士課程（4年制）については、形式的な組織改編を伴わない修業年限変更も含む。

(注5) 平成26年度開設の公立大学2校と私立大学1校による共同専攻（届出）については、公立大学として計上。

(注6) 平成26年度開設の放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻（博士後期課程）（認可）については、公立大学として計上。

